

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第1回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年4月11日（木） 午後5時00分から午後6時20分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：14人（総数21人） 出席者：畠山会長、澁谷委員、岡田委員、山岡委員、山口委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、山本委員、金子委員 欠席者：岡野委員、上條委員、矢島委員、岩田委員 防災政策課：2人 鈴木主幹、佐々木上級主査 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、笠原、渋谷、下間、柴田、吉岡
報 告	2 報告 片瀬海岸3丁目津波避難施設について 防災安全部防災政策課より、配布資料に基づき現在の進捗状況等について説明。 [質問等] (1) 平常時の利用はどのようにお考えか。複合施設のように避難施設以外の用途で利用することは考えていないのか。 [防災政策課] 複合施設となると工事に着手するまでに大幅に時間がかかってしまうため、市民の安全を確保するという観点から避難施設としての利用のみとしている。 (2) 液状化の懸念はないのか。 [防災政策課] 液状化が起こる地盤の深さは5mほどであり、今回の津波避難施設は杭を地中7mから9mほどに打つ予定であるため、設計構造上問題ない。 (3) 中間階の倉庫に備蓄する資機材は何をどの程度予定しているのか。 [防災政策課] 備蓄については、今後西浜町内会と相談しながら決めていく予定。備蓄品としては、簡易トイレや保温シート等を想定している。

(4) 730人ほど収容できると記載があるが、出入口は3か所のみで問題ないのか。

[防災政策課]

出入口の階段とスロープはそれぞれ2mほどの幅を確保している。発災直後に避難者が一斉に避難施設に集中するわけではないため、避難者になるべく混雑しないような設計となっている。

(5) 片瀬海岸3丁目に住んでいる方以外も避難をしてよいのか。また、高さが7mとなっているが、この高さで問題ないのか。

[防災政策課]

避難については地域住民のみではなく、誰もが避難できる施設となっている。

高さについては、今ある知見を集約した結果、3.4mの基準水位（津波による「せき上げ」も含めた高さ）に余裕高3.65mを加えた7.05mとした。一部住民から7mよりも高くしてほしいとの要望もありましたが、これ以上高さを上げてしまうと収容人数も減ってしまうため、藤沢市としては7.05mの高さとして進めており、市議会の承認もいただいている。

(6) このような公共施設は工期が伸びることが多く見受けられるが、施工期間は及び運用開始時期は計画通りにいくのか。

[防災政策課]

一早く周辺住民の安全を確保するため、早急に着手することを目指している。まずは、6月議会での承認が下り次第、早急に工事業者と契約を行い、そこから1年から1年半ほどの工期となるため、完成は令和7年度中を見込んでいる。

(7) 建設予定地は海風が強い場所だが、完成した後の維持管理はどうしていく予定か。

[防災政策課]

建設予定地は海数が強く塩害の影響を受けやすい地域であることは認識しているため、外壁の素材は塩害に強いものを使用している。維持管理については、公共施設になるため、修繕を適宜行っていく予定。

(8) 平時から入れる仕様になっているのか。

[防災政策課]

発災時には誰でも入れるように、扉を壊せる仕様になっている。

議 題	3 議題 (1) 役員の選出について 立候補はなし。事務局案として、畠山委員を会長に、副会長は各部会の部会長が務めていた経過があるが、一部の部会が無くなったこともあるため、今回は部会からの選出は無しとし、澁谷委員を副会長に推薦することとした。 (2) 令和6年度の活動について ア 令和6年度活動スケジュールについて 配布資料のとおり事務局から説明。各地域団体は総会がこれからの開催であるため、記載しているスケジュールは確定しているものではないため、参考までにしていただきたい。 イ 令和6年度検討課題、事業について 配布資料のとおり事務局から説明。今後の方向性については、5月及び6月の全体会で決めていくこととしたい。 昨年度まで活動していた部会で、ボランティアセンター運営委員会については、片瀬地区社会福祉協議会に移管することとした。人材・情報バンクセンター運営委員会については、委員会の在り方について見直しを行った。 見直し結果については、委員より説明。 [委員] 事務局から説明のとおり、人材・情報バンクセンター運営委員会について見直しを行った。 その結果、コロナ禍でコミュニケーションが制限されたことや、地区全体の高齢化、ボランティアのなり手不足等の状況から、人材・情報バンクセンター自体が時代のニーズに合わなくなってきたため、5月31日をもって窓口業務を終了し、閉所することとした。コーディネーター運営委員も6月末までの活動とする。今後、関係各所に調整を行っていく。 [事務局] 前述のとおり、昨年度まで存在した部会が2つ無くなったため、新たな部会を作ることを事務局としては考えており、案としては福祉や防災に関する部会や、公募委員を中心とした何でも言える部会を立ち上げてもいいのではないかと考えている。 今回の全体会では提案のみとさせていただき、5月の全体会に改めて検討していくこととしたい。
-----	---

議 題

(3) 令和6年度の会議開催について

ア 全体会の開催時間等

今後の会議日程について、配布資料のとおり事務局から説明。昨年度までは毎月1回の役員会と全体会を開催していたが、会議自体をコンパクトにしたいとの意見も出ているため、日程案についてご審議いただきたい。

[意見等]

- (1) 時間は一定にしたほうがいい。個人的に夜は疲れるので、昼に開催していただきたい。
- (2) 新たな公募委員もいるので、5月及び6月の会議については対面で開催したい。
- (3) 公募の委員が参加できる時間帯にしたほうが良いのではないか。
- (4) 公募委員は日中働いているのか。

[事務局]

日中働いているが、日程は調整するといっていたいて委員の方もいる。ただ、全員が参加することは難しいため、日程を事前に周知してできる限り参加いただけるように調整したいと考えている。

そのため、5月及び6月の会議日時はこの場で決めてさせていただきます。

- (5) 昨年度の参加実績はどのような形か。

[事務局]

報告書2ページに記載がある。

- (6) 全員に都合を合わせるのは難しいので、会議の時間帯はいろいろな時間でやるべき。

[事務局]

これまでの意見を踏まえて、5月は公募委員との顔合わせを考えて、夜の時間帯での開催としたい。具体的な時間帯としては午後6時から1時間ほどの会議時間としたいと考えている。来庁できない委員もいる可能性があるので、Zoomでの対応もできるよう調整していく。

【決定事項】

5月の全体会は5月16日午後6時から午後7時30分までとする。

[事務局]

会議の開催間隔については、5月以降の会議で引き続き検討していくこととしたい。ただ、部会の設置等、方向性が決まるまでは毎月の開催としたい。

- (7) 次回までに委員全員に会議の開催時間や方向性等についてアンケートを実施し、その集約結果を基に話し合ったほうが議論が活発になるのではないか。

	〔事務局〕 6月くらいまでに方向性を決めていかないと考えているため、部会の方向性や会議時間等についてのアンケートを事務局で早急に作成し、4月末を目途にご回答いただくこととしたい。 なお、アンケート送付方法については、できる限りメールでの対応とさせていただきたい。 【決定事項】 異議なし。4月中にアンケートを送付し、集約した結果を基に5月以降の全体会で議論を行うこととする。
その他	4 その他 (1) 弁天橋花いっぱい愛好会活動周知チラシの配布について 次第の記載内容に沿って事務局より説明
	(2) 片瀬山地区の樹木伐採について 配布資料のとおり事務局より説明 〔意見等〕 (1) 行政のほうで伐採等をするなら、近隣にはポスティング等で周知すべきではないか。 〔事務局〕 ご指摘の通り該当部署に申し伝えます。
次回会議 開催日時・場所	5月の全体会では、協議会の方向性アンケートを確認しながら方向性について検討。
	全体会 日時 2024年5月16日(木) 午後6時00分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第2回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年5月16日（木） 午後6時00分から午後8時20分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：15人（総数19人） 出席者：畠山会長、澁谷委員、岡田委員、山岡委員、馬場委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、金子委員、上條委員、矢島委員 欠席者：岡野委員、岩田委員、山本委員、山口委員 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、 脇田、吉岡
報 告	3 報告 （1）前回全体会について 資料1のとおり事務局から説明。一部修正点あり（委員総数“21”→“18”）。 前回の意見交換会において、委員から期日前投票に関する意見があり、それに対する選挙管理委員会からの回答を事務局が代読。 〔意見1〕 片瀬市民センターが建て替える際に、期日前投票所のスペースを確保できるように検討していただきたい。 〔意見2〕 移動式の期日前投票所みたいなものを設けてみてはどうか。 〔意見3〕 高齢者施設等の福祉施設で投票することができると聞いたことがある。藤沢市も鵠生園等の福祉施設で投票できるようにしてみてもどうか。 〔事務局〕 委員の皆様から出た意見については、市民センターの方から選挙管理委員会へ伝えさせていただく。 （2）地域団体からの報告 ＜生活環境協議会＞ クリーン活動の御礼。フィッシャーマンズマルシェと同日開催したが、マルシェの方に市民が流れてしまった。来年度は今年度の反省を生かして活動していきたい。ごみゼロクリー

報 告	ンキャンペーンも 5 月 2 6 日（日）に実施する予定。 <片瀬地区社会福祉協議会> 6 月 1 6 日（日）開催予定の癒しのコンサートの案内。 <片瀬子ども会連絡会> わくわく子ども天国の案内。 6 月 2 2 日（土）に実施予定のわくわく子ども天国及び配布資料「みんなおいでよこどもらんど」の案内。 <スポーツの会> 5 月 1 9 日（日）に片瀬小学校で実施予定のスポーツフェスティバル及び 6 月 1 日（土）に片瀬中学校で実施予定のソフトボール大会の案内。 <民生委員> 今後、7 5 歳以上の後期高齢者調査が始まる予定。また、敬老会の出席者の人数についても確認させていただく予定。 <青少協> 7 月 5 日（金）に実施予定の潮の子フォーラム及び 7 月 1 9 日（金）に実施予定のデーキャンプ、7 月 2 0 日（土）、8 月 3 日（土）に実施予定の江の島夏期夜間パトロールの案内。 デーキャンプについては、コロナ禍では 6 年生限定だったが、今年度はレトルトカレーを配布する予定。 【質問】 [委員] デーキャンプのカレーは参加者が各自で食器を持っていく形か。 [回答] 食器は団体で用意することとし、事業ごみとしてセンターで捨てる予定。
議 題	4 議題 (1) 令和 6 年度片瀬・江の島まちづくり協議会アンケートについて資料 2 のとおり事前にお配りしたアンケートを集約させていただいた。これから 2 0 分ほど時間を設けるので、自由に意見交換していただきたい。意見交換の流れの中で、次回の全体会につながるような意見のまとめ方をしていきたいと事務局としては考えている。 ※ 委員のアンケート回答資料は別途事務局から配布 [委員] 全体を通して地域の中でつながりを持ちたい、中のコミュニティが強固で外から入りづらい。これまで部会で細かく検討してきたが、みんなで集えるイベント等で出会いの場を設けてもいいのではないかと感じた。

[委員]

片瀬海岸3丁目津波避難施設の建設について、前回のまちづくり協議会にて説明があったと聞いている。建設は近々着手する予定とのこと。施設内の物品の維持管理を町内会が率先してやるべきと考えている。10年以上津波に耐えうる施設にできればと考えている。

[委員]

7月27日(土)に片瀬小学校の150周年イベントを実施する予定であり、子ども会連絡会は模擬店を出店する予定。まちづくり協議会としても活動をPRする良い機会になるのではないかな。

[事務局]

まちづくり協議会の存在自体が地域に知られていない現状があると認識している。アンケート結果を見ると、福祉と医療の向上が課題として挙がっており、その具体的な対策案として、委員からアプリ開発等の意見が挙がっていた。この点について、委員から説明いただきたい。

[委員]

アプリ開発については、ゴミの日をアプリで確認できるものがあり、利便性がいいと感じたことが本意見提案のきっかけである。

アプリ案は配布資料のとおり5種類挙げている。共通のポイントとして、どの世代でも同じ情報を掴むことができるようにし、世代によって情報の捉え方は違うが、世代を超えて他地区に情報発信及び地区の情報を集約できるようなプラットフォームにしていきたいと考えている。

参考に、「ことこと」というマガジンを回覧させていただいた。これは子ども達が取材をした鎌倉地域のマガジンであり、子どもたちが地区内にある会社や人等を取材して、地区内の出版経験者の協力を得ながら作成したものである。

[事務局]

アプリ等のツールを活用しながら、まちづくり協議会という枠組みの中で様々な情報発信していくことで、地区内のつながりを構築できたらと感じた。

地区のつながりは、結果として防災や福祉にも生きてくる。先程の委員の意見を踏まえて、再度委員の皆様の意見を伺いたい。

[委員]

委員のような公募委員からの意見を大切にしてほしい。委員の定期的な交代もするようになれば、新たな意見の創出につ

ながるし、まちづくりに携わる人を増やしていくことも大切と
考えている。

[委員]

片瀬地区の世帯数等の議論の元になる客観的なデータを事務局
から示したほうがいいのではないか。今まで、地区内でどのよ
うなイベントがあり、どのような地域団体が主催しているのか
知らなかった。

若い方の注目が地区内のイベント等集まるように、このよう
な会議体に若い人を入れ込んでいけたらいいと感じた。

[事務局]

若い方をこのような会議体に入れ込むのも大切と考えている
が、一方で、片瀬地区は藤沢市の中でも歴史のある地区である
とも認識している。そのため、若い方と地区の歴史を知ってい
る方が共存できる様な会議体に行きたいと事務局としては
考えている。

[委員]

アンケート結果を見ると、防災に関する意見が多いと感じ
た。地域の防災活動を推進するためには、地域間のつながりが
大切と考えており、つながりを深めることができるように具体
的な目標を設けるべきと感じた。

[事務局]

片瀬地区は防災の意識が高いと感じている。発災時にも避難行
動や避難所開設等についても、地域間のつながりが大切である
ため、このような会議体で深めていけたらと感じた。

[委員]

委員のアイデアについて、公平に情報がいきわたるという観点
から、とても良いと感じた。ただし、いきなりアプリ開発とい
うのは、リソース的にも厳しい側面があると思うので、まずは、
ウェブサイトやライン等から始めて、段階を踏んでアプリに移
行していくことが現実的かなと感じた。

個人的に、とても緊急度が高いと感じており、スピード感をも
ってこの課題を解決したいと考えている。その課題解決のアイ
デアとして、地域間がラインでつながることが最低限必要と感
じている。

また、他のアイデアとして、アンケート結果 5 ページに記載の
「図書館ボックス」提案したい。これは、宅配ボックスのよう
に 24 時間いつでも貸し借りできるものであり、これを地区内に
配置することで、人とモノの流れが可視化できる仕組みが構築
できる。これは防災の観点からも、「困ったときに貸せる」にす

ることで、参加することで利があるような仕組みを構築できれば、地域としても参加しやすいのではないかと感じた。

[委員]

まちづくり協議会が何のためにあるのか今一度立ち返るべきと感じている。防災に関する意見が多数出ているが、各地域団体でそのテーマに関する見え方が違うため、月ごとにテーマを決めて話し合うのもいいのではないかと感じた。

[委員]

自身も公募委員の際に、どのような部会が必要か自由に意見できた。公募委員は、地域団体に所属していない側面から自由に発言できるため、公募委員を中心としたワーキンググループを作ってもいいのではないかと感じた。

自治会加入率が片瀬地区は高いと感じていたのも、アンケートにつながりが薄いと書かれていたのは驚いた。高齢化により外部を受け付けないこと主な原因と感じている。このアンケート結果をもとに、部会にとらわれないイベント等の活動をしてもいいのではないかと感じた。

[委員]

どのような側面から地域のつながりが強かったと感じていたのか。

[委員]

自身が自治会の役員をやっていたので、地域間のつながりがあると感じていたが、実情は違っているのだなと感じた。アンケートでかなり踏み込んだ意見が出たので、このアンケート結果を大切に進めてきたほうがいいと考えている。

[委員]

マンション管理組合との話し合いとかはどうか。マンションの管理組合は若い人が加入していることもあり、役員も輪番制なので、若い人と協議できる。また、委員の貸し借りの仕組みもいいと思った。

[委員]

地区内のつながりが薄いと改めて感じた。人が集まって輪が広がっていく。地区の人が集まるイベントを開催して、地域住民が交流する場を創出する必要があると感じた。

[委員]

町内会加入率について、片瀬は91%くらいだが前は98%くらいだった。新しく建ったマンションは管理組合で加入の有無を決

定するため、コントロールできない。町内会加入する利点として広報ふじさわの配布を案内しているが、実際は町内会に加入しているが、配っている実績もある。

[委員]

自治会はマンション単位で結成しているものもあるのか。

[委員]

マンション単独で結成している自治会もある。

[委員]

方向性について、タウンミーティングをする案も過去にあったが実現はできなかった。今後、まちづくり協議会として、地域の方が集まるイベントやアンケートの意見で多く挙げた防災関連で何か企画してもいいのではないか。

ただ、若い人との交流という観点において、今の若い人は自身に利があることは関与していくが、地域団体等のコミュニティにとらわれたくない傾向がある。

[委員]

能登半島地震があったため、現在のトレンドは防災になりがちだが、まちづくり協議会は防災専門の会議体ではない。片瀬地区には自主防災協議会があるため、防災にとらわれすぎなくてもいいのではないかなと感じている。文化継承等の他のテーマを取り上げていいかなと思った。

[委員]

部会の在り方を検討するうえで、来月の全体会で話し合うテーマをここで決めたらどうか。

[委員]

来月の全体会は、今年度のまち協の在り方を主題として考えるべきであり、その中で、防災について取り上げて部会を作るか、イベントをやるか方向性を決めていくべきと考えている。

[事務局]

本会議のまとめをさせていただく。

今回、様々な意見を委員の皆様から出していただいたが、6月の全体会に向けてまちづくり協議会の方向性を決めていく必要がある。個人的には、アプリ等の新たな視点の意見も出たため、部会ではなく、ワーキンググループという枠組みでやっていくのもいいのかなと感じた。また、委員からもご意見のあったとおり全体会の在り方も今後検討していく必要もあると感じている。

	そのため、次回全体会では、今回の意見を参考に、部会を作るのか、ワーキンググループを作るのか等、まちづくり協議会の方向性について改めて検討していくこととしたい。 【決定事項】 異議なし。今回の意見を参考に6月の全体会で検討する。
その他	5 その他 事務局から次回の日程について案内。来月の役員会は方向性が決まっていないため、見送りとさせていただく。全体会については、6月20日に実施する予定であるが、時間が未定であるため、開催時間についてここで意見を伺いたい。 [委員] 委員の皆さんがたくさん出席できる時間帯がいい。 [事務局] 公募委員の方が参加できる時間帯、昼からだ、夜はどうか。 [委員] 木曜は勤務日であるため、日中は仕事のため参加は難しい。 [事務局] 公募委員の仕事がある現状を鑑みて、18時開催予定でどうか。 [委員] 委員が夜の時間帯だと出席できないため、今後は夜と昼の時間帯を交互に開催してはどうか。 [委員] そのほうが公平性は保てる。 [委員] 次回は公募委員の出席状況も鑑みて、今回同様に夜間にしてはどうか。 [委員] 委員については、事務局から事前に意見を聴取しておくことで、補完できるのではないかな。 [事務局] 今回同様に18時開催とさせていただく方向でよろしいか。 【決定事項】

	異議なし。6月の全体会は18時開始とさせていただきます。 [事務局] 部会の開催については、方向性が決まっていないため見送りとする。今回のアンケート結果等については、自治連総会でも報告をさせていただきます。 また、次回の全体会にて、市建築指導課が令和7年度に市条例を変える動きをするため、会議の冒頭で説明する時間を設けたいと考えているのでご理解いただきたい。 [委員] JJBCが今月末で閉所する。今までご協力いただきありがとうございました。 [事務局] 東浜海水浴場営業組合より盆踊りのイベントを実施する予定であり、まちづくり協議会に協力の依頼があった。本件について、回覧等で協力できるのではないかと考えているが、詳細が固まっていないため、改めて周知させていただきます。
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時 2024年6月20日（木）午後6時00分から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第3回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年6月20日（木） 午後6時00分から午後8時30分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：16人（総数19人） 出席者：畠山会長、澁谷委員、岡田委員、山岡委員、馬場委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 岩田委員、甘粕委員、金子委員、上條委員、矢島委員 岡野委員 欠席者：小原委員、山本委員、山口委員 事務局：6人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田
報 告	3 報告 （1）「藤沢市建築物再生可能エネルギー利用促進計画」の策定について（建築指導課） 建築指導課から配布資料のとおり説明。 【質問・意見】 〔委員〕 市から業者や建築士の紹介はしてもらえるのか（藤原委員） 〔建築指導課〕 市からのあっせんはできないが、ホームページで公開されている建築士協会に登録されている建築士から紹介していただくことは可能。ただし建築士はご自身で選んでいただく必要がある。（建築指導課） 〔委員〕 電話等でセールスをかけてくる危ない業者も一定数いるが、その安全性を担保はできないのか。 〔建築指導課〕 建築士協会に登録している建築士に電話していただくか、建築指導課に個別にご相談いただければ。（建築指導課） 〔委員〕 太陽光パネルを設置するのであれば、高さ制限は撤廃されるのか。 〔建築指導課〕 一定条件をクリアすれば、許可することは可能。（建築指導課）

報 告

[委員]

遡っての許可はできないのか。

[建築指導課]

令和7年度からの開始になるので遡ることはできない。

[会長]

江の島は景観区域に指定されているので、太陽パネルは設置できないのか。

[建築指導課]

市が促進を指導しないだけであって、設置することは個人の自由となる。なお、建築費の助成についても、江ノ島地区であっても対象となる。

[委員]

太陽光パネルの助成制度は従来からあることを知っている。今回の条例策定で補助率等は上がるのか。

[建築指導課]

現時点では答えられないが、9月ごろには補助率の回答ができる。

[委員]

マンション等に太陽光パネルを設置する場合に、津波避難ビルの屋上の利用の仕方の兼合いはどうする予定なのか。

[建築指導課]

確認させていただき、後日回答させていただく。(建築指導課)

[会長]

太陽光パネルを建築物に設置した場合、付属物の扱いにはならないのか

[建築指導課]

屋根のような形で設置する場合は、建築物の一部となる。付属物の扱いにするためには、屋根の勾配に沿わせて設置する必要がある。

[委員]

2050年までに二酸化炭素排出量50%削減とあるが、本件の他に、具体的に何か市として対策しているのか。例えば、インドやヨーロッパではバス停等の身近なものの上に太陽光パネルを設置している。本件においても、いきなり市民で実証するのではなく、公共物等で実証してからやったほうが市民としては安心できるのではないか。

[委員]

委員のおっしゃる通りだが、本件はパリ協定にて、各国の温室効果ガスの削減目標が決まっており、藤沢市としてもそれに準じて動いている案件。まだ国としても、法律が完全に整備できておらず、緩和規定等もこれから議論していく段階であるため、藤沢市としても段階的に緩和している状況。

[建築指導課]

二酸化炭素の排出量における市の政策に関しては、環境部が所

管しているが、藤沢市として2050年までに二酸化炭素排出量50%削減という目標を掲げており、その一つの取り組みとなっている。

〔事務局〕

委員の意見については、環境部等の関係部署に共有させていただく。

(2) 前回全体会について

事務局から資料1のとおり説明。

【質問・意見】

〔委員〕

6ページ目上部の委員の発言部分

「実際は町内会に加入しているが、配っている実績もある。」を

「実際は町内会加入していないのに配っている実績もある。」に修正。

(3) 地域団体からの報告

〔委員（子ども会連絡会）〕

6月22日（土）開催予定の「わくわく子ども天国」及び7月27日（土）片瀬小学校150周年イベント「かたせのうた」の案内。

〔会長（生活環境協議会）〕

5月26日（日）実施した「ごみゼロクリーンキャンペーン」の結果報告。

参加団体は79団体、参加人数4160名で、これは片瀬東浜、片瀬西浜、鵠沼海岸、辻堂東海岸、辻堂西海岸の総参加者数。

参観者数はここ10年間で徐々に減ってきている状況だが、ごみの量も年々減ってきている状況。

【質問・意見】

〔委員〕

海岸にゴミ箱がなくなった。神奈川県が撤去したことで海や公衆トイレにも捨てる人がおり、捨てている人はほぼ市外からの来訪者という現状。

〔委員〕

ゴミ箱を設置するとすぐに飽和状態になる。ゴミは持ち帰るように周知活動をし続けるしかない。例えば、ペットボトルの代わりにマイボトルを持っていると捨てられないため、そのような周知方法も有効と考えている。

〔副会長〕

観光客等の来訪者にゴミを持って帰らせるとするのは現実的ではない。ゴミ箱を設置した方が結果としてきれいになるのではない。

	いかと思う。 [委員] ゴミの絶対量は変わらないので、どこで捨てさせるかが問題。 [委員] 特に、外国人観光客だと持って帰ることできない。 [委員] 観光地という側面もあるが、ごみ箱は一定数あるほうが良い。 [副会長] こういうのはどこに言えばいいのか。 [事務局] まちづくり協議会として、市の関係部署に提言することは可能。今回のようなごみ問題であれば、生活環境協議会の課題として、まちづくり協議会として話し合うことも可能。 [委員（スポーツの会）] 5月19日（日）に実施したスポーツフェスティバル及び6月1日（土）に実施したソフトボール大会の結果報告。 7月27日（土）実施予定の片瀬小学校150周年イベントについて、スポーツの会として焼きそばの屋台を出店する予定。 【質問・意見】 [委員] スポーツフェスティバルは事前申込制ではないのか。 [委員] 自由参加としている。 [委員（青少年育成協力会）] 7月5日（金）実施予定の潮の子フォーラム及び7月19日（金）実施予定のデーキャンプ、7月20日（土）、8月3日（土）実施予定の夏期江の島周辺夜間パトロールの案内。 [副会長（地区社会福祉協議会）] 6月16日（日）に実施した癒しのコンサートの結果報告。事業実施にあたり、地域住民の方々が、割と回覧を見ているなど感じた。情報が行き届けば、このような事業に来ていただける方は一定数いると感じた。
議 題	4 議題 (1) 令和6年度片瀬・江の島まちづくり協議会について 第2回全体会では今後の協議会の在り方及び新規部会若しくはWGの設置を引き続き検討していくこととした。議論を円滑に進めるために、事前に会長・副会長・事務局で構成した2役会にてたたき台を資料2のとおり作成した。

ア 新規の取組（新規部会・WG の設置）について

資料2のとおり、新規で立ち上げるものは、部会ではなくWGの発足とさせていただきたい。委員構成は公募委員を中心に、地域団体からの委員はアドバイザー的な立場を想定しているが、本件における委員の皆様の意見を伺いたい。

【質問・意見】

〔委員〕

公募委員は何も報告するものはない。既存の部会を継続するのも議論していくべき。公募委員が6名で構成するWGを組んでみてはどうか。

〔副会長〕

既存の部会をどうしていくか整理していくことも必要と感じている。また、新規部会については、部会長の負担が大きく地域団体も抱えている現状があるため、その代替案としてWGの設立という案が挙がった。

〔委員〕

まちづくり協議会は、地域団体の委員と公募委員が一体となったオール片瀬を考える団体である。郷土文化推進部会はまさにそれが該当するもの。既存の部会を整理するにしても、色々な視点を交えたオール片瀬の団体であることを忘れないでほしい。

〔委員〕

まちづくり協議会は、各地域団体の報告に対して、意見を言い合う機会でもある。

〔委員〕

本件について、公募委員6人で話し合う機会がほしい。

〔委員〕

委員の意見に賛成。公募委員の意見創出の場を作るべき。

〔委員〕

青少年育成部会については、地域団体で既に事業を実施しているので、解散でいいのではと考える。また、郷土文化推進部会についても解散し、すべての部会等を一旦白紙に戻して、新たなものを作っていくべき。

〔委員〕

残さないといけない目線ではなく、今必要なものを考えるべき。

〔委員〕

郷土文化を考える部会は残していくべき。

〔委員〕

この機会に、一旦白紙に戻して考え直すべき。

〔副会長〕

部会等をゼロベースから考えていくうえで、情報発信を考える広報WGは必要と考える。

[事務局]

部会等を整理していくうえで、どんなことがやりたいかという視点で考えていただき、事業名がつけば予算はつけることも可能となる。

[副会長]

公募委員で構成するWGを作ってみてはどうか。

[委員]

郷土文化推進部会は必要。

[委員]

一旦すべて白紙に戻して、全体で考える場も必要。

[委員]

全体会にて、先程のごみ問題等の課題を話し合う場にしてもいいのでは。あえて部会を作る必要もないのでは。

[委員]

全体会だと一部の委員に意見が偏るので、少人数のWGのような場は必要。青少年育成健全部会のある意味としては、横のつながりを持たせる意味もある。まちづくり協議会のような横のつながりで意見を言い合う場は必要。

[会長]

今までやってきたことを継承していくことは必要。一旦白紙に戻すとしても、今まで携わってきた委員の想いを継承していくべきと考える。名前等は何でも良い。

[副会長]

今年度から新たに公募委員となった方の意見も聞きたい。

[委員]

委員のおっしゃる通り、公募委員で自由な発想でやりたいことを列挙していき、その中から地域団体等で既に行っている事業等を除いていく等の精査をしていく方法が良いと感じた。

[委員]

各自で取り組みたいことを言っていき、実際に取り組むものを精査していく形でどうか。ただ、ルールとして2名以上意見が重複するものを部会等にするか議論することとする。

[委員]

やりたいことはアンケートに書いてある。

[委員]

まちづくり協議会が何を決めたい会議体かわからない。片瀬は良いところもたくさんあるので、それを磨いていくという視点で話し合う場を設けてもいいのではないかなと感じた。

[事務局]

今までの意見のまとめをさせていただく。まずは、公募委員6名で話し合う機会を創出し、委員発案の各自意見を言っていく進め方を取り入れながら、それに委員のおっしゃっていた視点で進めていく。

このような形で事務局としては進めたいと考えているが、委員の皆様の意見を伺いたい。

[委員]

二役会の考え方はいかがか。

[事務局]

考え方としては資料2でお示ししたとおり。新たに発足するWGにはアンケートの話し合う場を設けたいと感じている。

[委員]

具体的に何を取り組むか等の方針は決めているのか。

[副会長]

おっしゃる通り。あくまでまちづくり協議会の在り方及び本全体会の進め方を二役会では議論した。

[会長]

公募委員で話し合う場を設けて、その内容を全体会で議論する形の方が公募委員の意見は反映される。その中でアンケートの中身も話し合っていく形でどうか。

[委員]

公募委員の話し合いの中で出てくる意見は複数出てくることが想定される。複数出てきた課題や意見を全体会で采配していくほうが良いのではないか。

[委員]

委員のおっしゃる通り、次回全体会までに公募委員で課題を話し合っただき、全体会で諮る形にしてみてもどうか。

[委員]

まちづくり協議会は地域団体の課題解決の場であるので、その側面も忘れないでほしい。

[事務局]

まちづくり協議会の意見創出の場として、公募委員のみの話し合いを設ける件について、公募委員の皆様の意見はいかがか。

【決定事項】

異議なし。7月の全体会は開催しないこととし、公募委員の話し合いの機会を設けることとする。その話し合いの結果を8月の全体会に報告し、街づくり協議会としての方向性を定めていく。

[事務局]

8月の全体会の開催時間はいかがか。全員が集まりやすい時間帯として、今回同様に18時からでもよいか。

[委員]

時間帯的に委員が参加できない課題はどうするのか。

[事務局]

委員には事務局から個別で経過を伝えているため、今回もそ

	のように対応させていただく。 〔副会長〕 公募委員の話し合いは委員が出席できる時間帯にしてください。 【決定事項】 8月の全体会は18時開始とする。 イ 全体会・役員会の役割について 事務局から資料2のとおり説明。役員会は廃止とし、当分の間は、二役会という形でいきたい。 【決定事項】 異議なし。当分の間は二役会という形とする。 ウ 部会について アのとおり、部会がまだ決まってないので、今回は議題なしとさせていただく。
その他	5 その他 役員会は開催しない方向とし、全体会については、8月22日（木）18時からとさせていただきたい。部会・WGは引き続き未定とさせていただく。 また、公募委員の話し合いについては、公募委員の予定を聞き取った結果、7月12日18時から片瀬市民センター第3談話室で行うこととした。委員については、事務局から個別で調整することとする。 6 閉会 以 上
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2024年（令和6年）8月22日（木）午後6時から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第4回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年8月22日（木） 午後6時00分から午後8時30分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、山岡委員、馬場委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、金子委員、山本委員、矢島委員 岡野委員、飯森委員 欠席者：岩田委員、上條委員、山口委員 市（都市計画課）4人 堀田主幹・與安補佐・柏木上級主査・吉野主任 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、下間、渋谷、柴田、脇田、木村
報 告	3 報告 （1）藤沢市都市マスタープランの改定について（都市計画課） 配布資料のとおり都市計画課から概要説明。 質問については会議時間確保のため、後日記入して提出いただくこととしたい旨、事務局より説明。 （2）前回全体会について 事務局から資料2のとおり説明。内容をご確認いただき、修正点等あればお知らせいただきたい。 （2）地域団体からの報告 〔委員（生活環境協議会）〕 夏期片瀬海岸周辺ごみ拾いキャンペーンの案内。今年度は8月中に3回実施予定。（2回は実施済み）今年度は昨年までに比べてゴミの量が多く、特にペットボトルや缶が多い傾向があった。 7月に埼玉県立川口工業高校清掃部との交流を行ったことの報告。 〔委員（民生委員児童委員協議会）〕 6月に実施した後期高齢者調査は無事に完了した。 9月25日（水）及び26日（木）に実施予定の敬老会の案内。 今年度は、しおさいセンター体育室にて片瀬地区社会福祉協議会と共同で実施予定。

報 告	[副会長（地区社会福祉協議会）] 9月6日（金）実施予定の「災害と福祉 助かった命、その先を生きる」の案内。実際に能登半島地震の支援活動をした藤沢市社会福祉協議会の職員の支援報告を聞く予定。 敬老会については、委員が案内したとおり。 [委員（防犯協会）] 9月6日（金）実施予定の第55回地域安全県民安全の集いの案内。今回は青少年支援フォーラムとの連名表彰という形で、青少年支援フォーラム会長の渡邊智恵子氏が表彰される予定。 [委員（スポーツの会）] 7月27日（土）に実施された片瀬小学校150周年イベントにて焼きそば屋台を出店した。 9月22日（日）実施予定のモルック大会の案内。 [委員（青少年育成協力会）] 7月19日（金）に実施したデーキャンプの報告。校庭や体育館での各種ゲームの実施やキャンプファイヤーを行った。 11月16日（土）実施予定の球技大会の案内。 7月中に実施した潮の子フォーラム及び夏期江の島周辺夜間パトロールの報告。
議 題	4 議題 （1）公募委員の打合せ結果報告について 第3回全体会から公募委員間の打合せを2回実施し、今後のまちづくり協議会の取組等について協議を行った。その結果を踏まえて、本日の議題の進め方について説明。 ア 今年度の取組について（部会等の検討） 既存の部会や公募委員の打合せで協議した取り組み案を別紙3のとおりまとめた。公募委員若しくは事務局から取り組み案をそれぞれ説明させていただき、今年度の取組事業を3事業に絞っていききたいと事務局としては考えている。ただし、今後必要に応じて増やしていくことも必要な場合はその都度全体会で協議していくこととしたい。 まずは、事業を3つ絞ることについて委員の皆様からのご意見いただきたい。 【質問・意見】 [委員] 3つの事業に絞るという事務局からの提案だが、6つの事業は公募委員それぞれが実施したい事業として挙げているため、3つに絞るのではなく、6つ全てのWGをひとまず協議してい

き、3か月後を目安に部会化するか等の方向性を決めていけばいいのではないかと考える。

ただし、青少年健全育成部会は青少年関係の地域団体でひとまずは構成しているため、その地域団体で実施していない事業を実施してみてもどうか。

[委員]

今回は公募委員の方々に実施したい事業を提案していただくように全体会でお願いした背景があるため、公募委員の意見を尊重すべきと考える。

一点確認したいのだが、先程の委員の意見は公募委員の総意の意見という認識でよいか。

[委員]

公募委員の半数は同じ考えだと認識している。

[会長]

ひとまずは、委員単独の意見だけではなく、公募委員間の打合せにて検討した内容を伺いたい。

[事務局]

会長から提案いただいたとおり、ひとまずは公募委員の打合せにて協議した取り組む内容を担当の公募委員から説明いただくこととする。まずは、片瀬&江の島歴史文化見直しWGから説明いただきたい。

〈片瀬&江の島歴史文化見直しWG（委員）〉

配布資料のとおり説明。藤沢市都市マスタープランの中でも片瀬地区は「歴史文化を残した～」という記載が数多く見受けられたこともあり、片瀬地区において歴史や文化の継承は重要であるため、旧郷土文化推進部会を引き継ぐ形でこのWGを発足させたいと考えている。

事業の進め方については、まず、意見交換から始めたいと考えており、ゆくゆくは片瀬地区ならではの歴史文化遺産の見直しを行い、次世代に残すべきものを整理することとしたい。

〈ごみとマナー向上を考えるWG（委員）〉

資料3のとおり説明。片瀬地区は観光地特有のごみ問題があり、この問題について完全消滅は不可能だが、減らすことは可能。

ただし、地域で根本からの解決は難しいため、県・市等の行政に申し入れを行うことを一つの着地点として実施していきたいと考えている。観光に対してのマナーの周知活動も併せて行っていきたいと考えている。

〈生活防災を考える WG（委員）〉

課題等については資料 3 のとおり。片瀬地区では既に、自主防災協議会等の団体で防災の取り組みをそれぞれ実施していると伺っているが、全体的に参加者数が少ないことが大きな課題となっていると聞いている。

そのため、本事業を通じて若年層を取り込むことが重要と考えている。具体的な取り組み事項は別途配布資料に記載のとおり。

〈広報 WG（事務局）〉

資料 3 のとおり説明。本来なら委員から説明いただくことになっていたが、本日欠席のため事務局から説明。

大きな目的として「世代を超えたつながり」を構築することを目標とし、ポータルサイト等の情報発信プラットフォームの見直しや数ある地域団体の情報発信の手助けとなるような活動を展開していきたいと考えている。

〈片瀬山公園有効利用を考える WG（委員）〉

片瀬山公園は指定緊急避難場所（大規模火災）にも指定されており、もっと有効利用していくべきと考えている。

行政との連携が必須の案件なので、市民センターにも協力をお願いしたい。

〈青少年健全育成部会（事務局）〉

資料 3 のとおり事務局から既存事業の内容を説明。近年、子ども関連ニュースが多いため、社会的に関心が高い。

片瀬地区には青少年関連の地域団体が多いため、団体間の連携も維持しつつ、子ども関連の課題に対して取り組める事項を模索していきたい。

【質問・意見】

[委員]

片瀬山公園の土地は市有地ではなく借地であるため、市も着手できないと聞いているが。

[委員]

現状把握の中で権利関係を確認していく。全部が龍口寺の土地ではない。

[委員]

青少年関連はプライベートに踏み込む問題等もあるため、地域住民が取り組む案件ではないと考える。

[委員]

青少年健全育成部会については、青少年関連の地域団体間の情報交換の中で、取り組める案件を模索してきた。あくまで地域でできることを考える場であり、そこまで難しい案件ではない。

ただ、既に青少年関連の地域団体は常々連携をしているため、まちづくり協議会として実施するかは検討が必要と考える。

[委員]

公募委員の打合せにて、まちづくり協議会として課題を6つ挙げていただいたのであれば、わざわざ3つに絞らなくてはいいののではないかな。

ただし、委員が実働部隊になると大きな労力が必要になるため、できるできないの観点ではなく、片瀬地区として課題となるべき事項であれば、取り組む方向で検討してもいいのではないかな。

[委員]

地域団体からの委員は現状把握のために、加わっていただきたい。

[事務局]

第3回全体会にて、地域団体からの委員は部会やWGへの参加は任意という形で承認をいただいたところである。そのため、先程の意見はあくまで委員の希望という形で受け取っていただきたい。

[委員]

6つの事業をすべて実施するという案も挙がったが、2年間ですべての事業を進めることは大変である。そのため、3つに絞る事務局案は2年間の中で注力すべき事業を選択することであり、その考え方でも良いのではないかと感じた。

青少年健全育成部会については、子どもたちの居場所づくりを推進してきた。これまでの活動で一定の成果は得られたと考えている。

[事務局]

事務局としては、マンパワーを発揮できる事業数を精査した結果、3つくらいが妥当と考えた。

[委員]

6つをすべて実施するのではなく、あくまで検討に特化したWGとして6つをスタートさせるという認識をしていただいた

い。

〔副会長〕

公募委員からの説明はどれも興味深いと感じた。これまでの議論等を踏まえて、青少年健全育成部会と片瀬山公園有効利用を考えるWG以外の4つのWGでスタートするのがいいのかと感じた。

〔会長〕

片瀬山公園有効利用を考えるWGは、市役所の予算の問題や市政の方針も絡んでくるため、取り組みは難しい。

藤沢市の大きな課題として、デジタル化の推進が挙げられる。自治町内会連絡協議会ではデジタル化に後ろ向きな方も一定数いた。公募委員からの事業説明の中でもデジタル化の推進に関連した部分もあったので、まちづくり協議会から推進してもいいと感じた。

絞り方については、まちづくり協議会として必要かどうかという視点で決めていけばいい。ただ、実施事業を絞った結果、青少年健全育成部会が外れてしまったとしても、青少年関係の問題がなくなったわけではないので、各WGでもそれぞれ議論していくべき。

〔委員〕

片瀬山公園は指定緊急避難場所なので、防災の枠組みの中で取り組んでも良いのではないかと感じた。緊急避難する場合に、海側から上がれないのは利便性の観点からとても課題がある感じた。

〔委員〕

片瀬山公園は市が指定緊急避難場所として指定しているが、避難対象者が地区毎に指定されているため。片瀬地区全体の課題ではない。防災の視点から進めるのであれば行政との話し合いが必須の案件だと感じた。

〔事務局〕

まちづくり協議会で使える予算について情報提供させていただく。お察しのとおり、今年度の予算は確保できていない。そのため、来年度に向け9月中を目途に予算要求していく必要がある。ただし、要求したところで、予算が必ずつくとの確証はない。

これからは、企業協賛等でお金を確保していく等、どうしたら実施できるかという視点で取り組んでいく必要がある。

[事務局]

絞り込むという提案をさせていただいたが、地区内で課題が見つければ、その都度全体会で議論していき、その結果、部会化しても良いと考えている。

[委員]

青少年健全育成部会が仮になくなってしまったとしても、それぞれの地域団体で出た課題を全体会にて都度揉んでいけばいいのではと感じた。

[委員]

片瀬地区は子ども関連の団体が充実している。ただし、表面に現れていない課題があると思うので、全体会の場で議論させていただく方向で良いと感じた。

そのため、事務局や副会長からの提案のあったとおり、4つの事業絞って実施する方向で良いと考える。

[委員]

4つの事業に絞って実施するとしたら、委員全員がどれかのWGに必ず絡んでいただきたい。少数だと議論にならないため。

[委員]

まずは絞ることから始めたほうがいいのではないか。

[事務局]

議論のまとめをさせていただく。4つの事業で進めていくということによろしいか。

【決定事項】

異議なし。青少年健全育成部会と片瀬山公園有効利用を考えるWG以外の4つの事業で進めていく。

イ 所属する部会について

先程、委員から発言があったとおり委員がどれか一つのWGに必ず所属しなければならない点について意見を伺いたい。

[副会長]

その議論については、事務局から説明のあったとおり過去の全体会で整理したため、あくまで委員のお願いベースということにしていきたい。

また、各WGは協力員として委員以外からも参加者を募ることも可能。

[委員]

JJBC 等で協力員をやっていた方にやっていただくのはどうか。

[副会長]

協力員については、人数制限がないため地域から何人でも募ることは可能。

そのため、今まで JJBC 等に所属していた協力員を配分するとい認識ではなく、新たに募っていくという認識。

[事務局]

地域団体選出の委員については、WG への所属は任意としているが、複数の WG に所属していただく分には問題ない。

議論の整理ができたので、所属する WG についての希望を取らせていただく。

【決定事項】※敬称略

- ・片瀬&江の島歴史文化見直し WG
→岡田、阪井、小原、金子、飯森、岡野、(上條)
- ・ごみとマナーの向上を考える WG
→矢島、藤原、山本
- ・生活防災を考える WG
→山岡、畠山、馬場、甘粕、塚田、徳江
- ・広報 WG
→(上條)、澁谷、山岡、岡田

※欠席の委員については、事務局から後日聞き取りを行う

ウ 各部会の日程について

続いて、各 WG の初回の打ち合わせの日程を決めていただきたい。

【決定事項】

- ・片瀬&江の島歴史文化見直し WG →
9月13日(金)18時～
- ・ごみとマナーの向上を考える WG →
9月4日(水)16時～
- ・生活防災を考える WG →
9月2日(月)10時30分～
- ・広報 WG・・・未定(委員重複のため)

※初回の打合せでは、WG の目標やスケジュール、目標に対する来年度予算要求する項目等についても協議いただきたい。

エ 令和6年度片瀬・江の島まちづくり協議会について

(ア) 市関係各課からの説明について

会議時間確保のため、本日と同じような形式で説明資料及

	び質問票を事前に配布し、当日説明に対する質問以外については、後日担当課より回答する運用としたい。 【決定事項】 異議なし。 (イ) 各団体からの報告について 会議ごとに各委員に配布している地域回覧一覧については、会議始まる前にテーブルにそれぞれ置いておき、必要な分を各自で取っていく運用としたい。 【質問・意見】 [副会長] 各団体からの報告は、会議時間確保のため、地域回覧に記載があるものは報告を省く等、報告時間を短くできるよう、各地域団体からの選出委員におかれましてはご協力をお願いしたい。
その他	5 その他 次回の全体会は9月19日（木）となっているが、会議開催の時間をここで決めたい。今までは、できる限りたくさんの委員が集まれる時間として、18時からの会議開始としていたが、委員の皆様の意見を伺いたい。 【質問・意見】 [事務局] 15時30分開始でいかがか。 [委員] 夜間の会議でないと参加できない委員が複数いる（山岡委員・岡田委員・矢島委員・山岡委員・小原委員） [委員] 山口委員は夜間会議の参加が難しいため、配慮したほうがいいのか。 [委員] それぞれ意見があると思うが、個人的には昼間のほうが良い。昼間と夜間で交互に開催したらどうか。 [委員] 今回の全体会に参加している委員は夜参加できる委員が集まっているので、いない人の意見が無視されている。昼間と夜間の半々がいいのでは。

	[委員] 公平性の観点からも半々が良い。奇数月は昼間、偶数月は夜間開催などにしてはどうか。 [委員] 土日の開催はどうか。 [会長] 土日開催だと事務局が大変になる。 [事務局] 決を採らせていただきたいが、いかがか。 [委員] 決の採り方は、「来月の開催時間は昼間にするか」というやり方にしてはどうか。 【決定事項】 次回全体会は昼間の開催とし、開催時間は15時からとする。 6 閉会 以 上
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2024年（令和6年）9月19日（木）午後15時から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第5回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年9月19日（木） 午後3時00分から午後5時30分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：13人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、阪井委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、山本委員、飯森委員 欠席者：岩田委員、上條委員、山口委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員、三觜委員 事務局：6人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、渋谷、柴田、脇田
報 告	3 報告 （1）前回全体会について 事務局から議事録の事前送付を失念したため、資料1については、ご帰宅してからお読みいただき、修正点等あれば事務局まで連絡いただきたい。 （2）地域団体からの情報提供等 〔藤原委員（生活環境協議会）〕 8月中に片瀬海岸付近のごみ拾いキャンペーンを実施した。暑さ対策をする必要性を強く感じた。最終日に江の島海水浴場協同組合よりアクエリアスを協賛でいただいた。このアクエリアスは、飲料業者（コカ・コーラ）が消費期限が近い商品を廃棄する前に海水浴場組合等の団体にフードロスの取り組みとして融通したものを提供いただいた。 〔阪井委員（スポーツの会）〕 10月6日（日）のスポレクの開催案内。今年度は片瀬小学校の開催であり、実施時間も午前中のみで開催となる。

議 題

4 議題

(1) WG開催結果報告について

各WGにおいて、9月中に第1回WGをそれぞれ開催した。報告を各委員からお願いしたい。

ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG (委員)

主に自己紹介等の相互理解を行った。昨年まで郷土文化推進部会にて実施した事業として片瀬・江の島歴史文化継承事業と民族文化財等継承事業があり、これらを基本的には継承していくこととした。

ただし、民族文化財等継承事業において積極的に普及することが難しいため、片瀬・江の島歴史文化継承事業に比重をおいて進めることとし、主に江の島道の整備等について実施していくこととした。

今後のWGの開催日時だが、毎月第〇曜日の開催としたかったが、仕事ある人もいるため、毎回予定を伺うこととした。次回WGは10月23日(水)17時から開催予定。また、江の島道の現地調査も次回10月11日に実施予定。

イ ごみとマナーの向上を考えるWG (委員)

協力員2名参加し、自己紹介を中心に第1回WG実施した。藤沢市のごみの流れを把握するため、今後は環境部局と日程調整していく予定。

ウ 生活防災を考えるWG (事務局)

第1回WGでは、自己紹介、本WGでの取組事業、今後の取組について協議した。

取組事業については、 委員から前回の全体会でご提案いただいた

① アートを用いた津波避難誘導

② 貸し借りボックス

③ 3D津波避難マップの3つの事業を段階的に取り組むこととした。

今後の取組については、①アートを用いた津波避難誘導を進めるにあたり、10月は現状把握を行い、11月あたりでアートを描く場所を探すことを目的としたフィールドワークを行うこととした。

次回の日程は10月21日に実施予定。

【質問・意見】

[委員]

アートを描く場所について、壁面等を想定しているのであれば所有者もよく確認しながら対応したほうが良い。勝手に書くと犯罪になってしまう。

エ 広報WG（事務局）

9月17日（水）に開催した。昨年度行った事業の確認と今年度以降行う事業の確認を行い、その中で出た意見を抜粋して報告させていただく。

まず、片瀬地区ポータルサイトについて、昨年度から改善を図ってきたが、それでも見づらいという意見があり、これ以上改善するためには、根本から作り変えるしかないという意見があった。

次に、回覧の電子化について、これも昨年度から実施してきた事業であり、QRコードは昨年配布済みだが、ただ、配布したものがどの程度活用されているのか検証ができておらず、QRコードにタグを埋め込めばアクセス数を調べることができるため、タグを埋め込んだQRコードを再度配布することを今後検討していくこととした。

最後に、SNSの活用について、昨年度もInstagramの運用を検討したところであるが、Instagram以外のSNSについても今後検討していくこととした。

【質問・意見】

〔 委員〕

協力員の運用について確認したほうが良い。これまでのまちづくり協議会では、役員会、全体会の確認を経てから、協力員を認めていた過去がある。

そのため、改めて協力員制度の運用方法について確認したほうが良いのではないか。

〔事務局〕

片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領第11条の中で、役員会及び全体会の承認が必要との文言があった。

〔 会長〕

これまでのまちづくり協議会の経過として、委員の任期が2年ということで、任期が切れてしまった方が協力員として参加いただいたケースが多かった。新規の協力員については、現状役員会を開催していないので、全体会の場で各WGから報告してもらい、承認を得るという流れであればどうか。

〔 委員〕

全体会で承認をいただくためには、所定の用紙に協力員の名前を記入して、提出する形になるのか。

〔 委員〕

まだ各WGが動き出したばかりなので、今後整理していく形ではないか。

[事務局]

まだWGが始動したばかりであるため、現段階では、各委員の所属についても、どのWGに移ってもいいと認識している。

そのため、協力員の選出については、参加を希望する協力員がいた場合は、ひとまずWGに参加していただき、そのWGで承認が得られれば、全体会で諮るという形にしてはどうか。

[委員]

会長のおっしゃったとおり、これまでは任期切れになった委員が協力員として所属することが多かった。協力員が新たに所属するケースが久々だったため、改めて整理をするという意味で提案させていただいた。

ただ、運営要領の記載が古いので、この全体会の場で共通認識を持っておく必要がある。

[委員]

運営要領が古いなら変えてしまってはどうか。

[事務局]

運営要領の変更については、二役会での調整のうえ、変更する場合は全体会で諮っていくこととしたい。

[会長]

過去に郷土文化推進部会では、餅つき唄の 会長（市職員）が協力員として所属していた。スポットで所属する場合には、全体会にて報告してもらうことも必要と感じる。

[事務局]

飛び込みで参加される場合においては、全体会で諮ることとしたい。委員の推薦であれば各WGに所属してから全体会で諮るという手順でよいか。

[委員]

緑と花いっぱい推進活動事業は今後も継続になるのか。

[事務局]

受入先がまちづくり協議会しかないため、その枠組みの中で実施していく。

[委員]

広報WGについて、ポータルサイトを一から作り直すということに違和感を感じた。過去に構築したものをなくすのはいかなものか。

[副会長]

昨年までの広報WGの取組の中で修正等は随時行っており、現状の枠組みの中でこれ以上改変をするには限界があるため、新規で作り直したほうが良いのではないかという議論になった。

[委員]

片瀬地区交通安全対策協議会では、今でもポータルサイトの更新を続けている。既存のものをなくすことは反対。前よりは改善されていると個人的には感じている。

[事務局]

片瀬地区ポータルサイトや藤沢市ホームページにおいても、見づらいという意見は複数件あるのは事実であり、転換期であると認識している。

ただし、各地域団体で事業実施の連絡等で活用していることも事実としてある。そのため、もし新規で作り直すのであれば予算取りや現状のポータルサイトからの移行作業等について広報WGにて検討を進めていただきたい。

(2) 全体会における議題について

前回の全体会にて、各地域団体の課題等を都度全体会にて議題として挙げていくこととした。全体会で議論したい案件について、各地域団体から何かあれば提案いただきたい。

また、今後そのような案件がある場合は、事前に事務局に相談いただき、二役会で諮ったうえで、全体会にて協議するという形としたい。

【質問・意見】

特になし。

【決定事項】

異議なし。今後、各地域団体で課題等があれば、その都度全体会で議論していくこととする。

(3) 目白山に設置した「まちかどミニベンチ」について

委員から8月3日(土)に開催した夏期江の島周辺夜間パトロールの際に、目白山下駅近くにあるはネジ等が飛び出しており、危険な状態であるのご指摘いただいた案件。

ご指摘いただいた直後に事務局の方で応急処置は実施しているため、現在安全性については問題ない状況。目白山に設置しているベンチ以外にも、まちづくり協議会として設置したベンチが複数あり、このタイミングで既存のものについて精査させていただきたい。資料2のとおり過去のデータを踏まえて作成した。既存のベンチについて今後の方向性等について委員の皆様に意見を伺いたい。

【質問・意見】

[委員]

ベンチを新規で作るのであれば、その後の維持管理も含めて検討していくべき。ベンチを設置することについては賛成。

[委員]

ベンチ事業について説明させていただく。過去まちづくり協議会の中に、まちづくり推進部会というものがあり、その部会にて一休みできる場所を検討し、ベンチを設置した経過がある。

メンテナンスについては、部会が存在している間は部会が実施していたが、部会が解散し、事務局も職員が変わっていく中でそのままになってしまった。部会も解散したため、過去に設置したベンチの在り方等について、全体会で議論していくべき。

[事務局]

事務局の方で現地確認をしたが、是非委員の皆様にも今後現地確認していただければと考えている。現状確認の中で、今後メンテナンスを継続していくのか、撤去していくのか等について協議していくこととしたい。

[委員]

撤去するのであれば、設置している町内会等に利用しているか確認した方が良いのではないかな。

[会長]

地元町内会への確認は必要と感じている。その必要性についてはまちづくり協議会と町内会で協議していくべき。

[委員]

地区内が高齢化しているのでベンチはあったほうが良い。現状確認を行っていき、必要不必要の精査を行っていく必要は感じている。その中で町内会の意見聴取は必要と感じている。

[事務局]

湘南白百合小学校付近のベンチも現地確認を行ったが、雑草が生えていて座るのが困難になっている。

[委員]

メンテナンスは町内会がやることとなっている。この場合だと、片瀬海岸2丁目町内会がメンテナンスしていないだけ。

[委員]

ベンチを設置することに対して反対意見はないと感じている。残っているベンチについては、自治会との協議の中で残すか、撤

	去するか判断すればよいと感じた。 〔事務局〕 今回は資料提示しただけであり、今後について近所等を確認していただき、まち協としてベンチの在り方を検討していきたいと考えている。 〔 委員〕 すべてのベンチにまちづくり協議会のステッカーは貼られているのか。 〔事務局〕 すべてには貼られていない。 【決定事項】 次回全体会までに各自でベンチの状況についてご確認いただき、今後全体会において継続的に議論していくこととする。
その他	5 その他 (1) 当面に日程について 次回の全体会については、10月24日(木)となっているが、その日程について委員の皆様に意見を伺いたい。また、会議開催時間は交互にしていく形としたいが委員の皆様のご意見を伺いたい。 【質問・意見】 〔 委員〕 夜間に出席できる委員の方が多いため、3回に1回昼間の開催としたい。 〔 委員〕 実績からみると、夜間昼間で出席人数はさほど変わらないので、交互の方が公平性を保てるのではないかと。 〔事務局〕 過去には、昼間の開催時間で統一していたが、夜間しか出れないという委員がいたため、3回に1回夜間開催にしたことが過去に経過としてあった。 今回の議論を見ると、昼間がいい人も夜間がいい人もいるため、公平性の観点から交互としたい。 〔 委員〕 来月以降の会議日時において改めて事務局から周知いただきたい。

[事務局]

来月以降の会議日時について、後日メール等で周知させていただきます。

【決定事項】

昼間（１５時～）夜間（１８時～）からの交互開催とする。

〈参考：今後の全体会日程について〉

１０月２４日（木）１８時～

１１月２１日（木）１５時～

１２月１９日（木）１８時～

１月２４日（金）１５時～

２月２０日（木）１８時～

３月２１日（金）１５時～

〈参考：各WGの次回日程について〉

片瀬&江の島歴史文化見直しWG １０月２３日（水）１７時～

ごみとマナーの向上を考えるWG １０月２日（水）１６時３０分～

生活防災を考えるWG １０月２１日（月）１５時～

広報WG １０月１１日（金）１８時～

（２）市政運営の総合指針 2024 の改定に伴う意見交換会の開催について

次回の全体会にて企画政策課が説明する予定。

（３）ＪＪＢＣの清算報告について

資料３のとおり事務局から説明。繰出金については、「片瀬・江の島まちづくり活動基金」に繰入することとする。

【質問・意見】

[委員]

各WGにおける来年度予算の申請期限はいつまでになるのか。

[事務局]

各WGで検討いただき、９月末までには申請をいただきたい。

（４）森井センター長から報告事項

ア 市民センター駐車場の有料化について

来年１月１５日（水）より市民センター駐車場がタイムズ 24(株)による管理・運営体制となり、一部有料化になる予定。まだ料金体系等は決まってはいるが、地域団体やサークル活動の際に利用する場合は一部減免（２時間無料）になる見込み。詳細は別途お知らせする予定。

	【質問・意見】 [委員] 片瀬市民センターの全ての駐車場が有料化になるのか。 [事務局] 第2駐車場のみ有料化になり、片瀬市民センター前の駐車場は公用車及び障がい者用の駐車場となり、一般利用できなくなる見込み。 [委員] 駐車場の形態は車止め等がある形式か。車止めがあると公民館祭りの際に邪魔になる懸念がある。 [事務局] ショッピングモール等で見かけるカメラでナンバープレートを読み取る形式であるため、車止め等は設置しない形式となり、公民館祭りも今までどおり開催することができる見込みとなっている。 イ 市民センター・公民館の一体化について 来年度の組織改正により、市民センター・公民館が一体化することになり、公民館がなくなる。ただ、公民館機能を失うわけではなく、市民センターに一本化されることになるため、今までのサークル活動や社会教育事業は継続して行っていくことから、現状から大きな変化はない見込み。 ただ、今まで公民館事業と地域団体の活動は別々で取り組みをしていたが、一本化することでお互い協力しながら地域活動を活性化していこうということを目的としている。 【質問・意見】 [委員] 公民館職員はどうなるのか。 [事務局] 地域づくり担当職員として一本化することとなる。今年度まで公民館職員として従事した職員も、来年度以降は地域づくり担当の職員として地域団体等の業務に携わるようになる予定。 6 閉会 以 上
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2024年（令和6年）10月24日（木）18時から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第6回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年10月24日（木） 午後6時00分から午後8時00分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：16人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、山本委員、飯森委員、上條委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員 欠席者：岩田委員、山口委員、三觜委員、阪井委員 事務局：5人 森井センター長、高橋主幹、下間、柴田、脇田
報 告	3 報告 （1）市政運営の総合指針2024の改定に伴う意見交換会 企画政策課より配布資料のとおり説明。 現在、市政運営総合指針2024から2028への改定作業中につき、本件について郷土づくり推進会議の場で時間の限り意見交換させていただきたい。 【質問・意見】 [委 員] 過去の計画の達成状況はどんな状況か。 [企画政策課] 4年サイクルで実施しており、4年前と進捗状況を比較すると100ほどの事業に対して課題として残っているのは5事業ほど。ほぼ達成している。 [委 員] 公共施設老朽化の再整備の進捗は？ [企画政策課] 公共施設の再整備は概ね計画通りにしている。市民センターなども順番に建て替えている。藤沢駅や村岡新駅等の都市拠点に計画しているものについては、具体化が進んでいると感じている。 [委 員] 8つの基本目標「安全・安心なまちづくり」との記載があるが、具体的な数値目標はないのか？数値の提示がないと効果が実感できない。

[企画政策課]

現在お示ししているものは大枠の基本目標であり、この計画の傘下にそれぞれの事業があり、そこについては数値目標を設定している。ただ、目標を定量化しづらい事業もあるが、どこまで数値目標を設定できるか協議している。防災関係については計画があり、数値目標はあるが達成できてない部分もある。防犯カメラについては、毎年度予算措置をしているものは設置しているが、追い付いていない状況もある。役所全体の優先順位をつけて対応している状況。また、スポーツについても数値目標化しづらいが、スポーツ人口を増やしていく、気軽にスポーツができる環境を整えていくなど進めていきたい。

[委員]

都市整備課がお示ししたマスタープランを実行に移していただきたい。ご説明いただいた基本目標が漠然としすぎていて、市民として実感がわきにくい。片瀬地区の課題ならともかく藤沢市全体として人口減少はやむを得ないと感じている。横須賀市などを参考に、海辺の整備を進めてはどうか。

[企画政策課]

本基本計画はマスタープランとも連携している。ただし、市民が実感しにくいとの意見があることも承知している。観光について通年型の観光を目指しているが江の島は大型の開発ができないので、その中で出来ることをやっていく。オーバーツーリズム等の問題も今後出来ることを対応していく必要があると感じている。

(2) 前回全体会について

委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。

→意見なし

(3) 地域団体からの情報提供等

[委員 (生活環境協議会)]

10月2日に藤沢西高校の生徒に、大学受験OA用の課題研究し、まとめたものを役所や地元の方の意見をいただくため、生活環境協議会の会長として依頼を受けた。環境に対するテーマとして片瀬海岸のポイ捨てゴミについて行ったとのこと。意見としては、海さくらに参加した日時を記録した方が良いのでは。アンケートでビーチクリーンに参加したいと思いますか？との問いには、ビーチクリーンをしたことがありますか？だったら良かったと思った。藤沢市はごみを出さないではなく、ごみを家に持ち帰るというスタンス。そのスタンスをSNSで発信してほしいなどを伝えた。

[委員 (民生委員児童委員協議会)]

9月25日26日の敬老会について無事に実施することができ

	た。 13 地区の交換会として明治地区へ行き、交流を行った。その際に、歴史マップの配布があった。この歴史マップを作成する際には、片瀬地区の歴史マップを参考にしたとのこと。 明治地区も片瀬地区同様に、高齢化と自治会加入率の低下が問題。ヤングケアラー問題の解決に向けてお互いに協力をしていく。 [委員（青少年育成協力会）] ふれあい祭りにてマスクを配布。マスクのデザインは片瀬中学校生徒が表彰されたものを使用した。球技大会も11月16日（土）に実施する予定。
議 題	4 議題 (1) WG開催結果報告について 報告の前に現時点での各WGにおける名簿を配布した。その中で、ゴミとマナーの向上を考えるWGの協力員3名について、WGの委員から協力員の感触を教えていただきたい。 [委員] 江の島からの3名は、ゴミとマナーについて前向きな考えをお持ちなので、WGの協力員として承認いただきたい。 [委員] 今までも環境関係にかかわってきた方なので、全く問題ない。 【決定事項】 ゴミとマナーの向上を考えるWGにおいて3名を協力員として認めることとした。 ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG（ 委員） メインとしては江の島道をやっていくため、10/11 ガイドクラブの協力をいただき視察を行った。まだ江の島島内を見ていないので、その視察を行ってから具体的な検討を進めることとしたい。11/28に江の島視察。 楽しく進めたいが、予算取りが難しいらしく、2年間の任期の中で来年度に使える予算を提示したが根拠が薄いということでダメだった。予算を取るにはどうしたらよいのか。 案内板などについてはまちづくり協議会が設置したものと教育委員会が設置したものがあり、教育委員会と予算を協議して予算面を調整していくことも考える。 イ ゴミとマナーの向上を考えるWG（ 委員） 10月2日に環境事業センターや環境総務課よりゴミ処理（市の取組）についてレクチャーいただいた。ゴミ自体は増えていないが、最終廃棄物の捨てる場所がなくなっている。また、分別等の問題については子どもから教育してく必

要がある。

ゴミ箱の設置については、江の島に数か所個あり、それ以上増やす予定はない。まだ方向性は決まっていないがじっくりと協議したい。

ウ 生活防災を考えるWG（ 委員）

まず、前回WGの確認を行った。次に、既存の取組についての把握を行った。片瀬地区の災害リスクと自主防災協議会の取組について確認した。津波についてフォーカスしていく。最後に、今後のスケジュールについて11月は机上での確認を行い、12月はフィールドワークを行う。

避難経路を設置するポイントは、江の島地区と西浜地区に絞ることとした。

エ 広報WG（ 委員）

既存の取組についての再確認を行った。まちづくり通信の発行について協議し、継続発行することとし、今年度は2回の発行を目指し、1回はWGの紹介号とし2回目年度末を報告号としたい。

ポータルサイトについて、HPの枠組みの中ではこれが限界値だが、今欲しい情報は発信できていることからそのままとする。

SNSのデジタル情報配信の検討を行った。1回目のWGではLINEやインスタの運用について議論。昨年度はインスタの方向で動いていた報告を確認している。結果として今回はラインのビジネスアカウントを作成し、試験的に運用していくこととした。試験運用の目的は、まち協委員に運用していただき、体験談をWGにフィードバックしていただく。本稼働にふさわしと判断したら、地区内で人数限定による試験運用をしたい。ラインの導入の本格化に向けて最終の議論・検討をする必要がある。課題は予算でラインのビジネスアカウント事体は無料だが、2千通以上は有料となる。月5千円のライトプランから運用して、良ければ一般的なプランに変更していきたい。

【質問・意見】

[委員]

江の島にゴミ箱が設置してあると聞いたが、観光客向けなのか？何か所設置。自治会予算は。

[委員]

町内会は関与していない。市の観光課。

江の島入口と奥津宮とコッキング苑とエスカー乗場と中村羊かん屋前

[委員]

市の環境部門が設置・管理している。

[委員]

広報WGについて、お金がかかるとの話だが、スポンサーを募れないか。

[委員]

過去の記録からのラインがふさわしいと判断した広告を挙げてくるというのはあります。

[委員]

何かいい案があるのではないか。探していけば何かあるのではないか。

[委員]

スポンサーを募って、スポンサーリンクをラインに差しこむ等の措置ができると感じた。

[委員]

お金出してくれる企業を探すのは大変だが、ニーズはあると感じている。

[委員]

予算は必要。予算がつかないとただ雑談しているだけで任期が過ぎる。少しでも予算がないと活動自体が滞ってしまう。

[事務局]

一定程度の予算措置が必要であることは承知している。ただし、限りある市税が原資であるため、市としても全て予算が付く確証はない。12月になると大まかに分かる。

[委員]

片瀬山公園について事務局経由で公園課と掛け合った。担当者の反応はよかった。継続的に行けばよいと感じた。

[会長]

予算については、過去には市から率先して出した経過があったが、なんにでも出すわけにはいかないことも承知してほしい。

ゴミ箱については、あったほうがいいのか議論を深めたほうがよいと感じた。

[委員]

基本的にゴミ箱を増やしたいという意見の中で市の方に話を伺った。ただ予算上できない。ゴミ箱が減った理由はテロを理由に減らしたのが一般論。マナーの悪さもあり減らしている。増やすのであれば観光の部分と手を組めば増やすことも可能だと思うが、なかなか上手くいかない。なのでゴミ箱設置は現状維持。江の島のゴミ箱については市が援助している状況。

[委員]

ゴミは持ち帰るが原則。安易に捨てるのではなく、市としてはマナーを向上することで設置にかかる費用および人件費を削減していく方向。

[委員]

江の島のゴミ箱にバイクに乗って捨てていく人がある。駅のゴミ箱は家庭ごみを捨てていくので撤去している。コンビニも店舗

の中に設置している。みんながマナーを守りながらゴミの持ち帰りを実践してくれればと思う。

[委員]

捨てた人も悪いが売った方も悪い。売ったほうがゴミの回収をするべき。

[事務局]

本件については、ゴミとマナーの向上WGにて協議していただきたい。

(2)「まちかどミニベンチ」について

資料2のとおり事務局から説明。前回の全体会にて町内会に意見を伺った方が良いとの意見があったため、目白山のベンチについては町内会長に意見を伺ったところ、修繕いただきたい旨の回答をいただいた。片瀬山のベンチについては、5町の協議会にて今後意見を集約することとした。

【質問・意見】

[委員]

片瀬山のベンチはまちづくり協議会で設置したベンチか。

[事務局]

事務局の方で過去の資料を漁ったところ、当該場所にベンチがある経過が見受けられたので詳細は不明。だがデータが残っている。

[委員]

まち協がベンチを設置する前からあった気がする。

[事務局]

まち協ベンチが保存されているフォルダーに情報があったことから、まち協で設置したと推理している。

[会長]

修繕の要望は町内会長から聞いたのか。

[事務局]

修繕の意向は片瀬目白山町内会長より伺った。ただ、発端としては 委員が地元(目白山)の方から要望として伺ったところ。

片瀬山は5町の議長に確認している。

[委員]

今一度確認する必要があると感じた。片瀬山駐在所に聞いたほうが良いのでは。ただ、設置場所としては良い場所にあるので、修繕したほうが良いと感じた。

[会長]

営繕協会と共同で作った経過はあるが。

[委員]

作った張本人を明らかにする必要があるのでは。

[事務局]

今後精査していく。

	まち協でなければ今回の修繕から外す。 [会長] コミュニティハウスが作った可能性がある。ただ、片瀬山の 5 町で作った可能性もあるので、確認したほうが良い。 【決定事項】 駐在所にベンチが設置された時期について確認
その他	5 その他 (1) 当面の日程 歴史文化 11月28日(木) 10時 江の島街歩き ごみ 10月30日(水) 16時30分 生活防災 11月18日(月) 9時30分 広報 11月 8日(金) 18時 (2) 地区集会について 今年度についてはWGを発足したばかりなので、あまりイメージがなかったが、各WGの中でやりたい意向があれば教えていただきたい。ただし、年度末に実施するのであれば、11月くらいから準備する必要がある。 各WGで地区内の住民に伝えたいことがあれば活用していただくことも可能。今年度やりたいものがあれば、まずは事務局にお伝えいただきたい。 【質問・意見】 [委員] ふれあい祭り 準備の段階でテーブルとイスが用意してあるとのことだったが無かった。終了後には机とイスをホールまで持って行った。年配者が多い団体なので疲れている。十何年やっているが今回初めて。事前に話もなかった。机を運ぶ係を用意してもよいのでは。 [委員] 竹灯籠が龍口寺で開催予定。 【決定事項】 特になし 6 閉会 以 上
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2024年(令和6年)11月21日(木) 15時から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第7回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年11月21日（木） 午後3時00分から午後5時25分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：14人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、飯森委員、岩田委員、三觜委員、阪井委員 欠席者：山本委員、山口委員、上條委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員 事務局：5人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、脇田 片瀬山3丁目自治会 鈴木氏
報 告	3 報告 （1）片瀬山3丁目自治会における電子回覧板についての取組報告 片瀬山3丁目自治会 氏から配布資料に基づき説明。現在片瀬山3丁目自治会では月2回の回覧・全戸配布による広報部長や班長の負担軽減を図るべく、LINE通知による電子回覧板の取組を進めているところ。当面は紙媒体による運用と並行していくが、今年度末までに紙媒体を半減できればよいと考えている。紙媒体を残すことで逆に支援が必要な人が浮き彫りになることから、広報を配る際に声掛けを行うなど見守りに役割をシフトすることができるようになる。 【質問・意見】 [委員] LINEの経費はどのぐらいかかっているのか。 [氏] 年間66,000円で、月5,500円。世帯数は455世帯なので、メッセージを月5,000通まで送信できるプランで運用している。100世帯程度の小さい世帯数だと割高になるが、逆に1,000世帯になると年間20万円などの高額になってしまう。 [委員] 配信するまでの作業はどのぐらいかかっているか。

[氏]

最近は作業手順を確立したため、一回の配信で1時間程度の作業時間。自宅のパソコンで作業している。広報ふじさわや片瀬市民センターからの回覧はURLを貼るだけでよいが、片瀬山3丁目自治会独自の回覧は一度画像データを保存する作業があるので手間がかかっている。

現役で働いている人はこのような作業は通常仕事で行っているため、リタイアしたばかりの人などに作業をお願いするとよい。

[委員]

登録者が質問をしたら、返事が返ってくるのか。

[氏]

管理者に対して質問できるようになっているので、こまめに返事をしている。

[委員]

自治会に入っていない人もLINEに登録できてしまうのか。

[氏]

片瀬山3丁目自治会は自治会に入っていない人へも回覧板を回しているため、LINE配信の案内を見た非会員の人が登録している模様。しかし、結果的に紙の配布数が減少すればよいと考えているため、そこまで問題にしていない。ただし、設定で排除しようとすればできる。

[委員]

従来は紙媒体がなくなることによって日頃の安否確認など地域におけるつながりがなくなってしまう懸念があったが、今回、逆にデジタル化を希望しない人を拾い上げてサポートするという話だったので、ぜひ自身の町内会役員会にて話をしてみたいと思った。

[委員]

引っ越した人はどうなるか。

[氏]

それは別途班長さん等が把握できるので問題はない。また、こちらから配信しないような設定もできる。

(2) 前回全体会について

委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。

→意見なし

(3) 地域団体からの情報提供等

[委員 (生活環境協議会)]

11/17(日)一日清掃デーへのご協力ありがとうございました。今年の参加者数は527人で前年が596人と減ってしまった。地域イベントに参加する方はほぼ同じで、高齢の方が

	多い。前日が津波避難訓練で２日間連続だと疲れるといって出てこなかった町内会もあったと聞く。御行町内会だと昨年に比べて１５人減った。スバナ町内会も会長は２日連続で出てくれたが、疲れたと言っていた。来年以降、連続しないよう考慮して計画してほしい。 [事務局] 事務局からも担当課に対してそのように伝える。 [委員（スポーツの会）] 毎年開催していたパークゴルフ大会の参加者が減少していたため、新しくボーリング大会を１１／１７（日）に実施。申込は２１人、当日の参加者は１７人だった。来年はもう少し枠を増やしたいと考えている。 [委員（片瀬中央商交会）] １１／１７（日）に東り町アートフェスを開催した。また、１２／２０頃竜の口商店街にて福引を行う予定。 [委員（片瀬地区子ども会連絡協議会）] 子ども会にて花壇の花植えを行った後にボーリングをして５０人程度参加した。１２／２３にはドッチビー大会を開催予定。 [委員（青少年育成協力会）] １１／１６（土）の午後に小学生対象の球技大会を開催し、小学１～６年生児童が７０人程度参加。また、平塚にある神奈川県立子ども自立生活支援センター（通称：きらり）へ視察研修で訪問した。１２／６（金）には合同パトロールがあるので、参加される関係団体の方はよろしくお願いしたい。
議 題	４ 議題 （１）WG開催結果報告について ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG（ 委員） 前回の全体会からまだWGの開催はなく、次回は１１月２８日の江の島視察であるため特に報告事項はない。今後の取組としては旧江の島道案内板等について事務局と相談しながら、郷土歴史課と協議したいと考えている。 イ ごみとマナーの向上を考えるWG（ 委員） 対観光客へごみの持ち帰りや減量について啓発を行っていくこととした。電車や駅のホーム、または商店街などお店にポスターを貼り、国内外から来る観光客に向けて周知していく。今後はそのポスターを誰が描くのか、製作費はどのようなのかなどの検討を進めていく。 ウ 生活防災を考えるWG（ 委員） １２月１６日に江の島にてフィールドワークを行い、観光客の避難経路や必要な誘導について確認する予定。多言語対応についても考えていく必要がある。

エ 広報WG（ 委員）

LINEを活用した情報発信を検討。昨年度まで検討していたインスタの運用基準を参考にしながら、今後ルールづくりを行っていく。また、広報誌の発信も考えたがまち協のWGで実施するのは難しいことから、できる範囲でやっていくということで少しずつ進めているところ。

【質問・意見】

[委員]

生活防災WGの防災アートは、壁に描くのか。落書き対策や落書き防止用のパネルを設置した場合の維持管理費用などはどうに考えているか。

[委員]

まずは次回のフィールドワークにて、直接壁に絵を描く方がよいか、パネルを設置したほうがよいかなど確認しながら話し合っていく予定。

[委員]

ごみとマナーのポスターも同様。原画を片瀬中学校の子に頼んではどうか。先日も絵画で賞を取っていた。子どもに色々と携わってほしい。

[委員]

指摘のとおり。子どもたちにポスター募集するにも、夏休みの宿題などと重なっても負担になってしまうので、どうするか考えてるところ。美術部にピンポイントで依頼することも検討。

[委員]

東浜の地下道も片瀬中学校美術部に依頼して描いてもらった。

[委員]

原画をアクリル板で保護しているが隙間に雨水が入って、錆びついたような状態になっている。メンテナンスが難しい。

[委員]

生活防災について、夜間江の島で被災した場合を想定し、蛍光で矢印やサインがあるとよいと思うがどうか。

[委員]

近年、夜は観光客も宿泊せずに帰ってしまうと聞く。まずは昼間に起きた場合を想定して取り組んでみる。

[委員]

江の島の中のごみ箱の数は増やさないのか。また、買ったものを買ったお店で回収するような取組は行われているのか。

[委員]

江の島島内のごみ箱は5か所あるが、藤沢市として増やす予定はないと聞いている。ただし、島内の他店で買ったごみを別の店舗で回収してくれたりと協力体制が構築されているのでよい。スバナ通りは店舗ごとの回収になっているため、他店のごみが落ちていても代わりに拾うというようなことはない。

[委員]

西浜サマークラブは担い手が不足していると聞いているが、学校から役員がついているのではないのか。

[委員]

子ども会は学校とは連動していない。西方町内会では役員のなり手がいなかったときに、 会長が各所へ声をかけてくれた。一度消滅してしまうと復活が難しいので、町内会でバックアップしてみてはどうか。

(2)「まちかどミニベンチ」について

片瀬山のベンチについてコミュニティハウス片瀬山のさんや片瀬山駐在所の さんに聞き取り調査を行った。片瀬山駐在所の さんからは28年前に自身が配属された時にすでにあったことから、まち協にて設定したものではないと確認が取れた。また、市の道路管理課からベンチ設置に係る道路占用許可が出ていないため片瀬山開発当時から設置されているものではないかと言われている。一方、片瀬山自治会協議会は可能であればまち協にて修繕してほしいとの意向であったが、どのように取り扱うか委員の意見を伺いたい。

【質問・意見】

[委員]

町内会から話をして、できれば市のほうで修理したほうがよいと思う。

[会長]

市の方もすぐやると言わないし、予算がないので、申請しても数年先になってしまう。町内会でも本来やるべきではあるけれど、町内会も人が変わるとまた方針が変わってしまう。そうすると結局誰も直さないということになってしまうので、誰かが直さないといけないのであれば、まち協で直してもいいのかなと思ってはいるが、皆さんの意見を聞きたい。

[委員]

基本的には片瀬山の人が使うので、その一部に対してまち協がお金を出すよりは、町内会で出した方が本来だと思う。

[委員]

防犯カメラのように市と費用を折半してはどうか。

[事務局]

市としては現在ベンチを管理していないので、費用を出すということは難しいのではないかと。

【決定事項】

片瀬山のベンチについてまち協にて取り扱わないこととし、片瀬山自治会協議会の 議長へは事務局からそのように返事する。片瀬目白山のベンチのみ、予算が取れ次第修繕を行っていく。

その他	5 その他 (1) 今年度下半期及び来年度に向けたスケジュールについて 今後の地区集会のやり方及び今年度実施の有無について確認をした。 【質問・意見】 [事務局] 今年度の開催を希望するワーキングはないようだが、開催はなしでよいか。 → 各委員、開催なしで了承。 [委員] 今後テーマは誰が考えるのか、ワーキングと関係なくてよいか。今までの地区集会は第1部に活動報告、第2部で大きなテーマが1個あって、それを地域の皆さんで考えましょうという開催だったが、今後の地区集会はテーマを個々のワーキングごとに出すということか。 [事務局] テーマだけでなく、やり方自体も全体会の中で作り上げていくイメージ。そもそも地区集会は住民の意見集約の手法の1つであるので、各ワーキングにてもっと住民の意見を聞きたいテーマがあれば、地域の方を呼んで意見を聞いたり、イベントを行ったりする方法もある。 [委員] ワーキングにて地区集会のテーマを考えるとということだったが、公募委員の方や新しく委員になられた方は地区集会の経験がないので、二役を中心に全体会で話を進めたほうがよいのではないか。 [副会長] 自分自身は広報ワーキングに入っているが、今年度は無理にしても「LINEに登録しましょう」だとかごみもポスターコンクールを兼ねて「藤沢市は持ち帰るんですよってことをアピールするっていうのも一つの地区集会になる。と思う。来年度にイベント的なものでもいいので、堅苦しくない形式で地域の人を巻き込んで年に1回やるというのでもよいのではないか。 [委員] いずれにしても、ワーキングでやりたいことがでてきたら、それを1本に絞るのも、全体会でやっぱり話し合うということでもよいか。 [事務局] 澁谷副会長の方から話があったように、何かイベント的な地区集会をイメージされてる委員の方もいらっしゃると思うので、まずワーキンググループの中でテーマや開催時期っていうものを話し合っていていただいて、全体会でまた意見などのアドバイスをいただきながら進めていければと考えている。
------------	--

	ただし、来年度４月、５月に開催するのであれば今から準備をしていく必要があるので、各委員において何かイメージがあったら話し合いができればよいと思う。 [委員] 片瀬地区ボランティアセンターの地域の縁側のようなものが地区内に数か所あるとよいと思う。 [委員] 毎週やるとなると、見守り当番が大変。 [委員] 以前、各所に何か所か作るという話だったが、途中で止まってしまった。 【決定事項】 今年度は地区集会を実施しない。次年度以降開催したいテーマがあれば、全体会にて諮ることとする。 (２) 当面の日程 歴史文化 １１月２８日（木）１０時 江の島街歩き ごみ １２月 ４日（水）１６時３０分 生活防災 １２月１６日（月） ９時 広報 １２月１２日（木）１８時 (３) 市民センター・しおさいセンター駐車場有料化及び市民センター・公民館の一体化について 森井センター長から説明を行った。１１月３０日（土）に説明会があるので、希望する方は参加してほしい。 【質問・意見】 [委員] 営利にて借りた場合は、物販なども行ってよいのか。 [事務局] できる運用になるのではないかと思うが、確認の上、後日回答する。 6 閉会 以 上
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 ２０２４年（令和６年）１２月１９日（木）１８時から 場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年12月19日（木） 午後6時00分から午後7時40分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、飯森委員、阪井委員、山本委員、上條委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員 欠席者：岩田委員、山口委員、三觜委員、 事務局：5人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田
報 告	3 報告 （1）前回全体会について 委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。 →意見なし （2）地域団体からの情報提供等 特になし （3）WG開催結果報告について ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG（ 委員） これまでに会議を3回、現地調査を2回行った。 現地調査を実施する中で、江の島道の沿道には文化財がいくつかあるが、その文化財のメンテナンスを誰が行っているのかは不明確。一部はまちづくり協議会や教育委員会の記載があったが詳細は不明なので、どこに維持管理をする責任の所在があるのかを明らかにする必要がある。 今後は、市関係部署である郷土歴史課等の市の関係課との協議が最優先と考えている。 イ ごみとマナーの向上を考えるWG（ 委員） 今までは市の取組（ごみの処理方法等）を確認してきたが直近のWGでは、ゴミを減らすための周知活動を行っていくための取組について協議を行った。 取組内容としては啓発ポスターの制作を考えており、具体的なスケジュールとしては、来年度8月頃までにポスタ

一制作における予算要求の準備を行い、12月に片瀬小学校及び中学校、湘南白百合学園に対してポスター制作を依頼し、1月に回収。可能であれば2月に地区集会を開催し、そこで審査を行いたいと考えている。

ウ 広報WG（ 委員）

広報WGでは、まずにまちづくり通信の内容についての検討がありました。基本的にはWGが新たに発足したため、まちづくり通信の主な掲載内容としてはWGの紹介をする方向性で考えている。

また、公式ラインの運用を目指すうえで、予算が取れるか取れないかは別問題として、まずは電子回覧版を作ってみたらどのように見えるのか、どのような情報が入るのか、電子回覧板には適切なのかを確認いただくために、回覧板試験運用のオープンチャットの登録をお願いしたところ。その確認方法について説明させていただく。

～～～ 委員から操作方法について説明～～～

【質問・意見】

[委員]

オープンチャットに掲載されている動画に人の顔が映っているが、顔が公開されると特定されてしまう恐れがあるのではないかと。

[委員]

現在は試運転の状態であり、まちづくり協議会委員の中での運用であるため顔が映り込んでしまっている。本運用では配慮が必要であることは認識しており、実際の運用に向けてそのような意見をどんどん挙げていただきたい。

[委員]

将来的に編集権限を各地域団体の委員にも共有できるのか。

[委員・ 委員]

今は試験運用なので、広報WGメンバーのみが編集権者となっているが、将来的には各地域団体にも編集権を与える想定でいる。

[委員]

片瀬山3丁目自治会 氏の電子回覧板の案件と混同してしまう。

[委員]

氏から説明のあった案件は、ビジネスアカウントによる自治会のLINEグループであり、今回提案したものとは性質が異なるものである。

[委員]

ビジネスアカウントによるLINEグループと今回のオープンチャットではどちらが良いのか。

[委員]

ビジネスアカウントはお金がかかる。オープンチャットは今のところ 5,000 人まで登録可能なので、少人数団体であれば推奨したいところ。

[委員]

各WGの議事録をこのオープンチャットに掲載することも可能か。可能であれば、全体会の簡素化になるのではないか。

[委員]

掲載は可能だが、公開して問題ないか確認が必要となる。

[事務局]

委員同士のオープンチャットであれば問題ないが、今回のオープンチャットの目的とは逸脱してしまうので、別口のオープンチャットグループを作成する等、今後検討させていただく。

エ 生活防災を考えるWG (委員)

生活防災WGでは、12月16日(月)に津波避難経路を確認するためにフィールドワークを実施した。江の島地区では、認知度の低い津波避難経路Bルート(消防団第1分団からの裏道)を中心に、津波浸水想定区域との境目となる中間地点等の確認を行った。西浜地区では国道134号線沿いを中心に確認をいたしました。

今後については、地図上に候補場所の画像を追加し、WGメンバーで振り返りを実施し、どの場所にどのようなデザインが効果的か、また壁面に直接書くのか、落書きやメンテナンス、維持管理費用などを含めて協議を進めていきたいと考えている。

○協力員の紹介

生活防災を考えるWGにおいて、前回WGから参加している 氏を協力員として承認いただきたい旨を事務局から説明。

[会長]

紹介いただいた 氏は被災地の取材経験もあり、災害の知見も豊富。ぜひ協力員として承認いただきたい。

→ 異議なし。生活防災を考えるWGの協力員とし承認することとする。

議 題

4 議題

(1) 今年度及び来年度に向けたスケジュールについて

今年度は地区集会を開催しない方向性だが、来年度以降で開催したいWGがあれば挙手願いたい。現段階では、ごみとマナーの向上を考えるWGのみ再来年の2月あたりに要望をいただいているところ。

また、従前から全体会において地域団体等で出た課題等について、まちづくり協議会にて都度議論していくこととなっているが、現段階で全体会にて議論していく課題・テーマ等があればお伺いしたい。

【決定事項】

地区集会について、ごみとマナーの向上を考えるWG以外は立候補なし。各WGの進捗状況に応じて開催する必要がある場合は、その都度全体会にて調整を図ることとし、開催方法は全体会にて意見を伺いながら進めていくこととする。

全体会にて議論していく課題・テーマ等については、現段階で特になし。

(2) 片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領の改訂（案）について
資料1のとおり事務局から改訂ポイント等について説明。

【質問・意見】

[委員]

第3条の「要綱第3条第1項第1号」はどのような内容か。

[事務局]

藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱第3条第1項第1号には「市民、地域団体等の地域の意見を集約することにより地域の課題を把握し、市との協働により課題解決に向けた方向性を検討すること。」と明記されている。

[副会長]

片瀬公民館評議員会の名称は、市民センター公民館の一体化によって変更となるのか。

[事務局]

名称が変わることが想定されるため、今後改訂作業が必要となる。

[委員]

第10条第1項の記載について、現状では部会が存在せず、ワーキングのみがあるため、「部会を設置し」ではなく「部会を設置できる」の方が適切ではないか。

[事務局]

委員ご指摘のとおり、できる規定に修正することとする。

【決定事項】

第10条の記載について「できる」規定にすることとする。事務局の方で修正を加えて、来月の全体会にて改めて修正した要領をお示しすることとする。

(3) 湘南白百合学園中学・高等学校との交流について

資料2のとおり事務局から説明。7月に開催した青少年育成協力会主催の「潮の子フォーラム」にて市民センターとの交流が始まり、先月には「市民と市長の意見交換会」も開催したところ。

今後も湘南白百合学園中学・高等学校としては、地域との交流を継続して行っていきたいと考えているため、その窓口となる団体として、まちづくり協議会としたいと考えているが、委員の皆様のご意見を伺いたい。

【質問・意見】

[委員]

歴史文化見直しWGでは、今後中高生の協力を仰ぎたいと考えていた。

[事務局]

まちづくり協議会が窓口となる件については、ご意見いかがか。

[会長]

市長と意見交換会をしたと聞いているが、市長の意見はいかがだったか。

[事務局]

明確に発言していたわけではないが、湘南白百合学園中学・高等学校が地域に入ってくることには好意的に捉えていたと感じた。

[会長]

今回の案件についても、最初にある程度の取り決めに交わした上で進めた方が良い。

[事務局]

地域との関わり方の一例として、スポーツの会であれば、部活動体験等でマッチングができると感じた。

[委員]

スポーツの会では、イベントの際に募集人員を片瀬地区在住の方に限っていた。湘南白百合中高に通っている方は、片瀬地区外に在住の方が多いかと思うので、共同でやるとしても別口で開催する必要があると感じた。

[事務局]

事務局としては、最初から全ての事業に関与させることは想定していない。委員ご指摘のとおり、各地域団体によってやり方が異なるため、最初の窓口としてまちづくり協議会を通すような形を想定している。

[委員]

事務局や委員についても入れ替わるため、まちづくり協議会が窓口になるのであれば、会長のご意見のとおり最初の取り決めが重要だと感じた。

[委員]

	せっかくの湘南白百合学園側からの提案なので、まずは意見交換からやってみてはいかがか。 〔事務局〕 意見交換という意見があったが、今後について、この全体会にてまちづくり協議会が地域の窓口になることが承認されれば、湘南白百合学園を1月の全体会にお招きし、顔合わせの機会を創出する予定であった。 〔副会長〕 全体会でも意見がまとまっていないので、まずは事務局と会長及び副会長、その他委員何名かで湘南白百合学園側に伺い、具体的な話を進めていく形にしてはいかがか。 〔事務局〕 事務局としては、副会長からのご意見いただいた案で進めていく形としたいがいかがか。 【決定事項】 異議なし。湘南白百合学園側との窓口をまちづくり協議会にすることを基本線にし、まずは会長及び副会長、委員数名と事務局で湘南白百合学園側と顔合わせを行うこととする。人選は事務局と会長で調整する。												
その他	5 その他 (1) 当面の日程 <table><tr><td>歴史文化</td><td>1月17日(金)</td><td>17時30分～</td></tr><tr><td>ごみとマナー</td><td>1月23日(木)</td><td>18時00分～</td></tr><tr><td>生活防災</td><td>1月17日(金)</td><td>18時30分～</td></tr><tr><td>広報</td><td>1月16日(木)</td><td>18時30分～</td></tr></table> (2) 認知症のかかわり方について 配布資料のとおり事務局から説明。配布依頼者の馬場会長から補足説明。 6 閉会 以 上	歴史文化	1月17日(金)	17時30分～	ごみとマナー	1月23日(木)	18時00分～	生活防災	1月17日(金)	18時30分～	広報	1月16日(木)	18時30分～
歴史文化	1月17日(金)	17時30分～											
ごみとマナー	1月23日(木)	18時00分～											
生活防災	1月17日(金)	18時30分～											
広報	1月16日(木)	18時30分～											
次回会議 開催日時・場所	次回全体会 日時 2025年(令和7年)1月24日(金) 15時から 場所 片瀬市民センター ホール												

令和6年度 片瀬・江の島まちづくり協議会 第9回全体会 議事録

日 時：2025年（令和7年）1月24日（金）

午後3時から4時50分まで

場 所：片瀬市民センター ホール

出 席：19人（委員13人、事務局6人）（欠席7人）

委 員：畠山会長、澁谷副会長、馬場委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、
甘粕委員、金子委員、小原委員、阪井委員、岩田委員、三觜委員、
飯森委員

欠席者：山口委員、岡田委員、山本委員、上條委員、山岡委員、矢島委員、
岡野委員

事務局 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田

1 開会

2 会長あいさつ

会長よりあいさつ

3 報告

（1）前回全体会について

委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。

→意見なし

（2）地域団体からの情報提供等

[スポーツの会（委員）]

1月26日（日）に開催する湘南藤沢市民マラソンの開催案内。片瀬 - 市民スポーツの会からは6名推進委員として手伝いをする予定。

2月1日（土）地区社協主催ボッチャ大会、2月15日（土）ニュースポーツ体験会、3月2日（日）ボウリング大会についての開催案内。

（3）WG開催結果報告について

ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG（事務局）

現在、取組事項については検討中の段階だが、市の郷土歴史課と活動内容が重複しないように協議を進めている。また、次年度の取組について歴史講座等のイベントを検討しており、詳細については添付資料の議

事録をご参照いただきたい。

イ ごみとマナーの向上を考えるWG（事務局）

「ゴミの持ち帰り」をテーマに啓発活動の検討を進めているところ。現在検討している取組内容としては、市民から啓発ポスターのデザインを募集し、周知活動を実施しようと考えている。

具体的なスケジュールとしては、令和7年度後半を目安にポスターの募集を行い、審査選考を行う予定。審査選考会については、地区集会にて実施しようと考えている。優秀作品を地区内に掲出する予定だが、具体的な場所や時期等についてはまだWGにて検討。

ウ 生活防災を考えるWG（徳江委員）

12月にフィールドワークを実施し、江の島地区及び西浜地区における津波避難経路や設置している看板などの確認を行った。ただ、フィールドワークで壁画アートを描く候補場所がいくつか挙がったが、いずれも個人宅の壁面（私有地）である等、懸念点も多かった。

今後は、それらの懸念点も含めWGの中で検討していく。

エ 広報WG（事務局）

広報WGでは2点協議している案件があり、1点目としてSNSの運用について、現在公式アカウントとオープンチャットのどちらで運用するか、それぞれのメリット・デメリットを比較したところ、ひとまずオープンチャットにて運用を開始することとなった。3月から4月の開始を目標として進めているところであり、発信内容としては電子回覧板や各地域団体のイベント等についてカレンダーにまとめたものを配信する予定としている。

2点目として、まちづくり通信の内容については、表面に各WGの活動紹介、裏面に委員に作成していただいた歴史文化WGの活動報告及び委員名簿を掲載することとなった。

また、委員の皆様方には、現在、LINE オープンチャットによる試験運用のメンバーに加入していただいているが、発信内容や頻度等についてご意見等ある方がいらっしゃればご発言いただきたい。

【質問・意見】

[委員]

試験運用はどれくらいまで続ける予定か。

[事務局]

3月若しくは4月の本格運用までは委員の皆様方の意見集約期間としているため、その期間までは継続する予定。

[委員]

全体会の開催通知についても今後オープンチャットを活用する予定はあるのか。

[事務局]

試験運用期間が終了した後は、全体会の開催通知のように委員全体に周知する用のオープンチャットルームとして存続させる予定。

[事務局]

SNSの試験運用については継続して試験運用を続けていくため、何かご意見等あれば来月の全体会にてご意見いただきたい。

(4) 湘南白百合学園中学・高等学校との意見交換会について

1月16日(木)に 会長・ 副会長・ 委員・ 委員・ 委員・事務局にて、湘南白百合中学・高等学校と意見交換会を実施した。配布資料は、意見交換会にて湘南白百合中高から配布された資料及び意見交換会の議事録をまとめてお配りしているところ。意見交換会の詳細内容については配布資料「意見交換会メモ」のとおり。

【質問・意見】

[事務局]

まずは、意見交換会に出席された委員の皆様方から感想等をお聞かせ願いたい。

[委員]

湘南白百合中高の生徒はしっかりしている印象を受けた。ただ、まだ1回目の意見交換会をただけなので、生徒の要望が対応できるのかはまだ不透明な部分があるため、継続して協議を重ねる必要がると感じた。

[委員]

意見交換会メモの記載内容で職場体験に関する記載があるが、「支援フォーラムとしては幼稚園に受け入れをお願いしたこともあった。」と記載があるが、これは誤り。支援フォーラムは片瀬中学校の職場体験の受入先をあっせんしたことはあるが、小学校については支援フォーラムではなく、学校が対応したものであるため、この記載内容は削除していただきたい。

また、配布資料の中で生徒の名前が記載されている資料があるが、これは問題ないのか。

[事務局]

名前が記載している資料については、この全体会後にいったん回収させていただき、まちづくり協議会の委員への配布について湘南白百合学園の了解がいただければ、後日改めて配布させていただく。

[委員]

事業を立案する立場として、年間スケジュールを把握できるのはありがたい。

[委員]

生徒が主体的に活動していることがよくわかった。地域の立場としては、できることから始めていくことが大事と感じた。

[副会長]

生徒が積極的なので、様々なイベント等に関与していただきたい気持ちになってしまうが、生徒も学生である以上時間の制約もあるため、まずは、ふれあい祭りや総合防災訓練等の地域の大きなイベントから関わっていく方が良いと感じた。

[会長]

副会長からも発言あったとおり、大きなイベントから関与していく方が良いと感じた。また、地域活動の基盤でもある自治会町内会の活動についても可能な限り参加していただきたいことを打診したところ、前向きな回答をいただけた。

[事務局]

会長及び 副会長からの意見があったとおり、ふれあい祭りや総合防災訓練等の大きなイベントから参加していただく方が良いのではないかという意見があった。ただ、初年度からいきなり企画段階から関与してもらうことは難しい部分もあると思うので、まずは事業を知っていただくことから始めた方が良いと感じた。

[副会長]

社協であればP C 講座の講師をお願いしたい等、各地域団体の中で色々関与させたい事業は各自で考えを持っていると思う。現在、関わりやすい事業の事例として、ふれあい祭り等について挙げたが、要望がたくさん出た場合はどのように対応した方が良いか。

[委員]

地域及び湘南白百合学園の双方で、それぞれまちづくり協議会及び生徒会という一次的な窓口があるため、まず地域側として、まちづくり協議会が各地域団体の要望を吸い上げて、二役及び事務局と湘南白百合学園生徒会と調整していけばいいのでは。生徒は3年間という短い時間の中で活動し

ているため、地域側のペースで事業を進めていくと遅いのではないかと。

〔 副会長〕

まずは、各地域団体から湘南白百合中高の生徒に関与していただきたい事業を挙げていただき、それをまちづくり協議会が意見集約し、湘南白百合学園側に伝達する。湘南白百合学園側としては、生徒会が中心となって地域側の意見の中から関与していただきたい事業について学園内で協議・選択していただく形でいかがかと。

〔 委員〕

関与する事業を挙げる期限はいつまでか。先述のとおり地域側のペースで進めると生徒にとっては遅いため、期限を決めて早めに進めていくことが必要。

〔 委員〕

2月若しくは遅くとも3月までに各WG及び地域団体に本件において各団体ごとで調整いただき、事務局へ提出する形でどうか。

〔 委員〕

それでは各地域団体の会議体にて本件について、報告及び協議を行ってしまってもよいか。

〔事務局〕

問題なし。細かいスケジュールについては、3月くらいを目途に調整していくが、現段階で事務局としては各団体が足並みそろわなくてもいいと考えている。

〔 委員〕

湘南白百合学園と関与する上で考慮が必要なのが、片瀬地区外から来ている生徒が多いということ。防災に関して言うと、発災時において湘南白百合中高の生徒が片瀬地区にいるとは限らないので、地域の防災活動への関わり方について難しく感じている。

〔事務局〕

すべての地域団体が関与する必要はないと感じているため、無理に絞り出す必要はないが、企画段階から携わっていただくことで、従来の発想とは違う発想も期待できると考えている。例えば、防災の観点でいえば、まずは総合防災訓練に参加していただくところから始めて、徐々に企画段階から絡めていけばいいと感じた。

〔 委員〕

澁谷副会長のご意見のとおり、来年度はふれあい祭りや地区総合防災訓練等の大きなイベントから関与していただいた方がいいのではないかと。いきなり初年度で様々な要望を与えない方が良く感じた。

〔事務局〕

先程の議論の流れでは、湘南白百合学園側で各地域団体から関与していただき事業について意見を挙げていただき、それを集約したものを学園側にご選択いただくような形でまとまったと認識していたが、先程のご意見はそれに対する反対意見という形か。

〔 委員〕

反対意見ではないが、要望を多く出しすぎると湘南白百合学園側にとって負担となる懸念があったため、発言させていただいたところ。

〔事務局〕

議論のまとめをさせていただく。これからの進め方として、まずは各地域団体から湘南白百合学園側に関与していただきたい事業について意見を挙げていただき、意見集約を二役会及び事務局で実施することとする。意見集約した中で、あまりにも不適切なものについては取捨選択させていただき、湘南白百合学園側にお伝えさせていただく形で進めていくこととしたい。

【決定事項】

前述のとおりとする。各地域団体からの意見集約について現段階で期限を設定することはできないが、各団体で随時進めていただきたい。

4 議題

(1) 令和7年度 まちづくり協議会全体会の進め方

前回の全体会から引き続きの議題となっているが、来年度の地区集会についてどのような内容にしていくのか案を固めていく必要があるため、参考資料として「地区集会（過去の開催一覧）」を配布させていただいた。

既に、ごみとマナーの向上を考えるWGからポスター審査会を実施したいとの具体的な提案が挙がっているところなので、その方向性で進めるのか、若しくは違う案で進めるのか等、委員の皆様からご意見を伺いたい。

【質問・意見】

〔 副会長〕

地区集会として地区の課題を解決する場としての認識が強かったため、人が集まらないという現状があったが、人数を集めたいのであれば、楽しいお祭りみたいなものにしていいのではと感じている。

〔 委員〕

課題解決という観点であれば、グループトークだとかなり盛り上がる。ただ、従来通りの手法だと、参加者が同じ顔触れになってしまうため、新しい意見を

集約するためには、例えば町内会から参加の呼びかけをし、参加を促してはいいかがか。

[委員]

もう何年も地区集会をやっているが、グループトーク等の形式だと人が集まらないのが現状。

例えば、片瀬&江の島歴史文化見直しWGの中で「江の島演芸絵巻」というものが江の島神社にあり、宮司さんに説明いただけないかという話が挙げられた。講座のような形で開催すれば、興味ある方は集まるのではないか。

[委員]

過去の地区集会の中で、グループトークの参加者を増やすために、お弁当を用意したことで、それなりに人が集まった事例があった。ごみとマナーの向上を考えるWGの案については、今まで実施したことがないような形なので、新しくいいのではないかと感じた。

[事務局]

今回の全体会で挙げた案について、事務局にてまとめさせていただく。

【決定事項】

異議なし。事務局にて今回の全体会で挙げた案をまとめ、次回以降の全体会で引き続き協議していくこととする。

(2) まちづくり通信について

配布資料のとおり事務局から説明。レイアウト等については広報WGの報告事項にもあったとおりとなっている。事務局の方で予定の目算を見誤ったところがあり、次回全体会にて承認をいただいた後に発注した場合、年度末の納品に間に合わない可能性が生じた。そのため、最終確認は本来全体会で諮るべきだが、今回のみ二役会にて承認をいただいたうえで発注させていただくような形で進めさせていただきたい。

【質問・意見】

[委員]

裏面の委員一覧の中で交対協の委員が抜けている

[委員]

この配布資料の文章が最終的な内容になるのか。

[事務局]

掲載内容についてはまだ編集中であり、配布資料の内容は最終稿ではない。委員一覧についても、改めて掲載内容については確認させていただく。

【決定事項】

異議なし。まちづくり通信の最終確認は二役会に承認をを委ねることとし、発注後の原稿を次回以降の全体会にて供覧することとさせていただく。

5 その他

(1) 令和7年度 まちづくり協議会全体会の開催日について

前回全体会後に、委員からご指摘いただいた事項。従来毎月第3木曜日の開催とさせていただいているが、開催日について今一度、委員の皆様のご意見をお聞きしてほしいとのこと。

また、過去の全体会において全体会の開催時間について、15時と18時の交互に開催していくことと決定したところだが、それぞれの出席人数を全体会にて報告していただきたいとの要望があったため、以下のとおり報告させていただく。

<全体会の参加人数一覧>

- 第2回（18時開催）：15名
- 第3回（18時開催）：16名
- 第4回（18時開催）：17名
- 第5回（15時開催）：13名
- 第6回（18時開催）：16名
- 第7回（15時開催）：14名
- 第8回（18時開催）：17名
- 第9回（15時開催）：13名

以上のとおりの結果となっており、なるべく多くの委員が集まる時間が良いのではないかという意見であったが、開催時間は全体会での承認事項であるため、この場で意見等がなければ現状通りとさせていただきたい。

【質問・意見】

[委員]

所属している委員の出やすい時間帯で開催するのが一番良いため、全体会で承認されたとおり、昼間が良い委員と夜間が良い委員が双方の意見があり、15時及び18時の交互開催となったため、現状通りで良いと思う。

【決定事項】

開催日は従来通り毎月第3木曜日とさせていただき、開催時間についても過去の全体会の決議されたとおり、15時及び18時の交互開催とする。

(2) 片瀬地区郷土づくり進会議運営要領の改訂（案）について

前回全体会でお示しした資料について、委員からのご指摘の部分について修正を加えさせていただいたところ。問題なければこれで改訂させていただきたい。

【決定事項】

異議なし。

(3) 当面の日程

第10回全体会	2月20日(木)	18時～	市民センター	ホール
片瀬&江の島歴史文化見直しWG	2月18日(火)	17時00分～		
ごみとマナーの向上を考えるWG	2月12日(水)	18時00分～		
生活防災を考えるWG(1)	2月3日(月)	9時30分～		
生活防災を考えるWG(2)	2月17日(月)	9時30分～		
広報WG	2月13日(木)	18時30分～		

6 閉会

以 上

次回全体会

日時 2025年(令和7年)2月20日(木) 18時から
場所 片瀬市民センター ホール

令和6年度 片瀬・江の島まちづくり協議会 第10回全体会 議事録

日 時：2025年（令和7年）2月20日（木）

午後時から 時分まで

場 所：片瀬市民センター ホール

出 席：21人（委員15人、事務局6人）（欠席5人）

委 員：畠山会長、澁谷副会長、馬場委員、藤原委員、徳江委員、甘粕委員、
金子委員、小原委員、阪井委員、三觜委員、飯森委員、岡田委員、
山岡委員、矢島委員、岡野委員

欠席者：山口委員、塚田委員、岩田委員、山本委員、上條委員

事務局 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田

1 開会

2 会長あいさつ

会長よりあいさつ

3 報告

（1）前回全体会について

委員の皆様には開催通知とともにお送りしているところ。修正点等あればこの場で教えていただきたい。

→意見なし

（2）地域団体からの情報提供等

〔 副会長（地区社会福祉協議会）〕

2月28日（金）に「災害と福祉のWG」の2年間にわたる成果報告の発表及び藤沢市に対する意見書について、市防災政策課に交付する予定。

〔 委員（生活環境協議会）〕

3月9日（日）開催予定の「SDGs ボードゲームで学ぼう！」という環境啓発事業の実施案内。まだ空き枠が多くあるため、是非ご参加いただきたい。

（3）郷土づくり推進会議 地区交流会の報告について

会長より2月7日（金）に藤沢市役所本庁舎で実施した「郷土づくり推進会議 地区交流会」の報告。

今回の交流会では、6地区（六会地区・長後地区・湘南大庭地区・辻堂地

区・善行地区・村岡地区）が事業報告を行った。事業報告を聞いた感想として、片瀬地区は他地区に比べると事業活動が少ないなと感じた。地域団体からまちづくり協議会も絡めて事業活動を展開していけばいいと感じた。

【質問・意見】

[委員]

他の地区はどれくらいの頻度で会議開催をしているのか。

[委員]

遠藤地区は年に4回くらいしか開催していないと聞いている。

[会長]

今回、遠藤地区は発表していない。

[事務局]

湘南大庭地区は全体会を月2回、その他部会も活発に活動していると聞いている。

[会長]

片瀬地区は片瀬地区なりのやり方で進めていけるように今後も協議していきたい。

(4) 地域団体から湘南白百合学園中・高等学校への活動依頼について

配布資料のとおり事務局から説明。前回の全体会では期限を設けずに実施したい事業について事務局にて受付することとなっているため、この場で決まっている地域団体等があればお伝えいただきたい。

【質問・意見】

[委員（生活環境協議会）]

提出するにあたり、指定の書式等はあるのか。

[事務局]

現段階ではメモ程度で構わないと感じている。ただ、湘南白百合学園とどのような方法で関与させる予定も含めて報告いただきたい。

[委員]

地域団体によっては、既に決まっている事業もあるのではないかな。

[事務局]

まずは地域団体からの意見を集約してから、書式については検討したいと考えている。

[副会長]

WG単位でも募集してよいのか。

[事務局]

WG単位でも構わない。今回の全体会後に各地域団体・WGにおいて、湘

南白百合学園と関与したい事業が決まっていれば、事務局までお伝えいただきたい。

(5) 片瀬こま大会 2025 の開催について

配布資料のとおり事務局から説明。昨年度までは郷土文化推進部会の委員がイベント運営の手伝いをしていただいた経過があるため、協力いただける委員がいれば事務局までお声かけいただきたい。

(6) WG 開催結果報告について

ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG (委員)

配布資料の議事録のとおり説明。江の島道周辺の文化財をどう残すかをテーマに活動している。郷土歴史課の所管としては、管理については所有者がするものであり、市は絡まずに地域で頑張ってもらいたいとの意向が示されたところ。また、一部の文化財について、松の枝が電線に触れているとの報告をしたが、国有地であるため関与できないという回答であった。今後は、江の島道のルートの説明を表示できる看板的なものを設置できるように活動していきたい。

また、歴史文化セミナーみたいなものを開催したいと考えており、集客面で課題となっている地区集会において開催する方向で議論を進めている。テーマとしては、江の島絵巻を江の島神社の宮司に頼んで説明してもらう方向で考えているところ。

イ ごみとマナーの向上を考えるWG (委員)

配布資料の議事録に沿って説明。ポスターデザイン募集要項を委員に素案を作っていただいたところ。実施方法等についてアイデアがあればご教授いただきたい。

ウ 生活防災を考えるWG (委員)

現在、津波避難誘導アートを描く候補場所の選定を行っている状況。進捗状況としては、2月5日(水)のWGにおいて、改めて本事業の目的を再確認し、17日(月)WGにおいて、どの候補場所に津波避難誘導アートを描くのが適切か、四象限分布図を用いて誘導効果及びリスクの観点から各委員が発表し、各自考え方の共有を行った。

また、2月7日(金)に実施した江の島津波対策訓練にもWGとして参加し、改めて江の島津波避難経路の確認を実施した。

エ 広報WG（事務局）

L I N Eの運用フォーマットについて、オープンチャット若しくは公式アカウントで実施するか議論を行った結果、リスク管理の観点から公式アカウントを利用する運びとなった。配信内容としては、月2回の電子回覧板の配信及び地域団体の活動スケジュールもカレンダー形式で掲載する方向で検討を進めている。

今後のスケジュールについては、3月中に公式L I N Eのアカウントを作成し、運用自体は4月若しくは5月にかけて月200通の無料アカウントにて開始する予定。間に合えば4月10日号に全戸配布予定のまちづくり通信（広報紙）にも二次元コードを掲載したいと考えている。

4 議題

（1）令和7年度 まちづくり協議会全体会の進め方

資料1のとおり事務局から説明。本件については、全体会における継続課題となっており、前回全体会で挙げた意見をまとめたところ。今後も議題として継続的に議論していく予定であるため、各地域団体における会議の中でまちづくり協議会への相談事項等があれば随時伝えいただければと考えている。

また、地区集会においては従前に「ごみとマナーの向上を考えるWG」において、ポスターデザイン審議会を実施する方向でご提案いただいているが、先程の報告事項の中で、「片瀬&江の島歴史文化見直しWG」においても歴史文化セミナーを検討していると報告をいただいたところ。

他のWG等においても何か案があればお伝えいただきたい。

【質問・意見】

〔 委員〕

今までのやり方だと第1部に事業報告を実施していた。時間の関係上、事業報告は簡潔に行った方がいいと感じた。

〔事務局〕

事務局としても従前のやり方にこだわらなくてもいいと感じている。地区集会のやり方についてイメージ等があれば随時で良いのでお伝えいただきたい。

〔 委員〕

ごみとマナーの向上を考えるWGでは、壁面に募集のあったポスターを掲出し、地区集会全体を通じて審査していただくようなイメージを持っている。

[事務局]

いっぺんに全部やるのは難しいので、単発のイベントという形でやることも良いと考えている。

[委員]

電子回覧板の話を地区集会等でやったらどうか。回覧板の内容は地域の方にとっても親しみやすい内容なのではないか。

【決定事項】

引き続き各地域団体等で意見があれば、随時次回以降の全体会で議論していく。

(2) まちづくり通信について

資料2のとおり事務局から説明。改めて納期を確認したところ、全体会において内容を確認できることになった。裏面の名前等について各自確認いただきたい。

なお、広報WGにおいて公募委員の名前を50音順にするという意見が挙がったが、それについてはまだ反映できていない。今後については、事務局の方で誤字脱字等を確認し、最終確認は二役をお願いすることとしたい。

【決定事項】

異議なし。

5 その他

(1) 当面の日程

第11回全体会	3月21日(金)	15時～	市民センター	ホール
片瀬&江の島歴史文化見直しWG	3月18日(火)	17時00分～		
ごみとマナーの向上を考えるWG	3月13日(木)	18時00分～		
生活防災を考えるWG	3月 3日(月)	9時30分～		
広報WG	3月 6日(木)	18時30分～		

(2) 令和7年度まちづくり協議会全体会の日程について

資料3のとおり事務局から説明。委員と市長の意見交換会の日程が確定したため、これが確定版となる。

【質問・意見】

[委員]

湘南海岸公園駅からしおさいセンターに向かう道中に、過去に「公民館活動部会」において設置した看板について、全体会でどのようにするか議論した方が良いのではと考えているが、いかかが。

[事務局]

委員が加入しているオープンチャットに現場確認した写真を投稿した。

[委員]

スポーツの会においても、しおさいセンターを使用することがあるため、何らの表示は必要と考えている。

[委員]

まちづくり協議会でやったことは、まちづくり協議会でメンテナンスを実施していくべきと考えている。維持管理することについて、部会化しても良いのではないかな。

[事務局]

市民センター分館という扱いであるため、本来であれば市民センターで実施する必要があると認識している。

[委員]

行先表示に加えて、しおさいセンター内における階数表示も必要と感じている。(現行が地下1階、1階、2階という扱い)

[事務局]

ご指摘の看板については、そもそも「片瀬公民館分館」という表記となっているため、来年度からの市民センター・公民館一体化に伴い一旦は外させていただく。

ただし、掲示物は必要と考えているため、今後は予算要求するために表記等については継続して議論していく。

6 閉会

以 上

次回全体会

日時 2025年(令和7年)3月21日(金) 15時から

場所 片瀬市民センター ホール

部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第11回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2025年3月21日（金） 午後3時から午後5時まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：12人（総数20人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、馬場委員、藤原委員、徳江委員、甘粕委員、 小原委員、阪井委員、三觜委員、飯森委員、岡田委員、塚田委員 事務局：7 人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、脇田、木村
報 告	3 報告 （1）前回全体会について 開催通知と同時に送付済み。修正点等あればお伝えください。 →意見なし （2）地域団体からの情報提供等 （生活環境協議会） 3月9日（日）に開催したSDGs ボードゲームの事業報告。4月19日（土）に 実施予定のクリーン活動の開催案内。是非ご参加いただきたい。 （スポーツの会） 3月2日（日）に開催したボウリング大会の事業報告。大人24名、子ども11 名の計35名にご参加いただいた。 （3）まちづくり通信について（事務局） 配布資料のとおり事務局から説明。現在、印刷会社との校正作業を行っているところ。 4月10日号の地域回覧にて地区内に全戸配布予定。もし、修正等あれば事務局までご連絡いただきたい。 【質問・意見】 歴史文化WGの紹介写真だけ影がついている。広報WGにて写真の影の有無は統一したほうが良い。

〔事務局〕 広報誌内の印影はつけないように統一することとし、印刷会社ともそのように調整させていただく。

（４）WG開催結果報告について

ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG

詳細は議事録のとおり。早急に着手したいと考えていた片瀬市民センター前にある戻り松の対応については、市民センターの方で来年度実施する予定。

案内板については、どこが江の島道か明記した案内板を出せたら面白いのではないかと考えており、現地を確認しながら内容等について今後は検討していく予定。

また、地区集会での開催提案をした歴史文化セミナーについては、江の島絵巻の説明をしていただく方向で考えている。江の島絵巻自体を知らない子ども等を対象として、セミナー的な形で実施しても良いのではないかと考えている。

イ ごみとマナーの向上を考えるWG

現在、企画案として出ている環境啓発ポスターの募集要項を詰めているところであり、今後はどこに募集依頼をするか協議していく予定。

ウ 生活防災を考えるWG

引き続き津波避難アートを描く候補場所の選定を行っており、3月3日（月）のWGにおいて江の島及び西浜地区における候補場所をそれぞれ決定した。

江の島地区においては、津波避難経路（Bルート）全体に描くことを最終目標として、まずは町内会が設置している看板から着手していくこととし、西浜地区においては、新江ノ島水族館の壁面を第一候補場所として進めていくこととなった。

今後については、各種調整のために必要になる企画書をWGの中で作成し、施設やアーティスト等の調整を進めていく予定としている。

【以前質問があった回答】

〔事務局〕 LINE オープンチャットにて、生活防災を考えるWGへの提案事項に関する回答をさせていただく。

提案内容については、「江の島大橋の東浜に抜ける地下道（入口付近）の壁面に毎年落書きを書かれてしまうため、避難経路図や避難案内のアートを描いては」であったと承知しており、本提案に対して生活防災を考えるWGで検討したところ、津波避難の際に地下道に逃げることは想定しづらいことから本提案内容について実施しない方向となった。

〔委員〕 了解した。

エ 広報WG（事務局）

公式LINEのアカウント名を「片瀬地区 KEIJIBAN」という名前にした。公式LINEの内容としては、回覧板の内容を定期的に配信するほか、画面下側に掲載されるリッチメニュー内に施設予約システムや図書室ホームページへのリンク先を掲載し、地域団体のイベント等をカレンダー形式で示せるように調整していると

	ころ。運用開始にあたって、とりあえず登録者500人を目指して運用していこうと考えている。 【補足】現在、一部の自治会で回覧板の電子化を進めているところであり、配信内容に重複している部分もあるが、事務局から説明のあったとおり、施設予約システム等をリッチメニューに入れ込み、すぐに該当ホームページに遷移できるようにするなど、地区住民の役に立つ様々なコンテンツを掲載していく方向で考えているところ。
議題	4 議題 (1) 令和7年度 まちづくり協議会全体会について
議題での検討事項・意見	配布資料のとおり事務局から説明。全体会の中で協議したい議題や地区集会の内容等、委員の皆様からアイデアがあればお教えいただきたい。 【質問・意見】 〔1〕災害と福祉WGの成果発表として、2月28日（金）に市防災政策課に対して意見書を交付したところ。その中で、観光客の防災対策等、片瀬地区特有の課題を議論できればいいと感じた。 〔2〕全体会で毎回議題に挙げていくとなるとまとめ方が難しいが、地区集会に向けてテーマを選定する等のやり方でもいいと感じた。 〔3〕防災は想定上の議論になってしまうので、「防犯」というテーマでも良いと感じた。 〔4〕「防犯」だけにとどまらずに、色々な観点から考えていけばいいのではないかな。 〔5〕地区集会の客寄せの方法として、最初に地区住民の興味を引くようなテーマで講演会を実施すれば、一定の集客効果があるのではないかな。 〔6〕以前に地区集会にて落語をしてもらった経過もあった。落語のテーマとして「防災」等の地区の課題を取り上げてもらうのも良い。 〔7〕市老連の会長会で「終活」をテーマに大和市在住の二つ目の落語家に落語を披露してもらった経過がある。真打の落語家だと謝礼等が高くなってしまうが、二つ目あたりだと低価格で引き受けていただけるかもしれない。 〔8〕スポーツの会で若い方の意見を聞いてみたところ、地区内在住の若い人の中には市外からマンション等に転入してくる方も多い。意見交換会のような企画だと、そのような方々にとって敷居が高いため、イベントみたいな企画だと若い方も参加しやすいのではないかな。 〔9〕去年の防災士の公民館講座がとても好評だった。防災関連を全体会の議題と

議題 での 検討 事項・ 意見	して取り上げてもいいのではないかな。 〔10〕 現段階で、片瀬市民センターを建替える計画はないのか。 〔事務局〕 今のところはない。 〔11〕 他地区では、建替えに際して、まちづくり協議会の中でどのような市民センターにしていくのか検討していく部会もあったと聞いている。 〔事務局〕 鵜沼市民センターは、老朽化が進んでおり、津波避難場所にもなることなどから、早急に建替えをするように市に提言した経過がある。 〔12〕 改築に向けて色々議論していくのは良いのではないかな。 〔13〕 いずれ来る改築に向けて準備としてやっていくのは良いと感じた。 〔14〕 鵜沼市民センターの建替えはいつになるのか。民児協で辻堂市民センターの見学を行ってイメージを膨らますのもいいと感じた。 〔事務局〕 鵜沼地区では、令和3年に地区住民全員を対象にアンケートを実施し、そのとりまとめ内容をベースに令和4年3月に鵜沼地区郷土づくり推進会議として提言書を出しているところ。 ちなみに、建替え後の鵜沼市民センター供用開始は令和11年度からの予定となっている。 〔15〕 片瀬地区は分館（しおさいセンター）含めて2館ある。ふれあいまつりでは2館同時開催でずっと開催してきた経過があるが、来年度の開催方法について議論しているところ。 公民館の在り方自体をまちづくり協議会で議論するのもいいと感じた。 〔事務局〕 まちづくり協議会で議論するならば、基本構想の段階で諸々の意見を上げていくこととなる。ただ、意見を上げるにしても鵜沼地区のように「津波避難ビルにしてもらいたい」等の明確な目的がないと中途半端な結果に終わってしまう。 〔事務局〕 市民センターの建替え等の様々な意見が出たため、事務局にて取りまとめさせていただく。来年度の地区集会は、従来から意見のあった2月開催とさせていただきたい。具体的な日程は次回以降決めていくこととしたい。 〔16〕 片瀬海岸3丁目津波避難施設の住民説明会にて、様々な時間帯で実施した経過があった。結論から言うと、どの時間帯が人集めに良いかわからない。 【決定事項】 市民センターの建替え等、本全体会で出た意見を取りまとめた上で、次回以降の全体会にて継続して議論していく。地区集会についても同様に全体会で継続的に議論していく。令和7年度全体会の中で協議したい議題や地区集会の内容
--	--

	等、委員の皆様からアイデア等をいただきたい。
6 そ の 他	5 その他 (1) しおさいセンターの看板について 市民センター・公民館一体化に伴い、すでに看板は発注済みとなっている。 仕様としては、UV 加工したプラスチック製のパネルにしていく予定。3月末には、業者によって取付が完了する見込み。 【質問・意見】 [1] 草刈は定期的に実施していくのか。 [事務局] 予算の関係上、優先順位をつけて順次対応する。 (2) 4月17日開催 委員と市長の意見交換会について 例年通り、市長には施政方針をお話しいただく見込み。市長との意見交換は時間に制約があるため、片瀬地区特有の課題をぜひ質問いただきたい。 【質問・意見】 [1] 質問の取りまとめは行うのか。 [事務局] 過去に質問の取りまとめを行ったが、うまく機能しなかったもので、現段階で取りまとめはしない方針でいる。 [2] 過去に一人の委員の方が、ずっと質問をしていた。 [3] 市長と話す貴重な機会。公募委員の方に話していただいた方がいいのでは。 [4] 公募委員の方が質問するのであれば、ある程度事前調整は必要では。 [事務局] 事務局の方で公募委員の出欠を確認し対応させていただく。 公募委員の方に振っていく方向で実施していくこととする。 (3) 当面の日程 委員と市長の意見交換会 4月17日(木) 16時～市民センターホール 第1回全体会 同 日 17時～ 片瀬&江の島歴史文化見直しWG 4月17日(木) 10時00分～ ごみとマナーの向上を考えるWG 4月10日(木) 18時00分～ 生活防災を考えるWG 3月24日(月) 9時30分～ 広報WG 4月11日(金) 18時30分～ (4) その他 令和7年度予算について事務局から説明。 6 閉会 以 上

次回 会議	全体会 日時 2025年4月17日（木）17時00分から 場所 片瀬市民センター ホール
--	--